

令和6年度の市の取組（予定）

重点施策Ⅰ：建設産業の魅力を伝える「PR事業」の推進

Point：多様な対象者に対する効果的な広報を推進

- ・ SNS等を活用した協議会ホームページの効果的な周知【市、業界】
- ・ インターンシップや現場見学会などの対象拡大に向けた対応の検討【市、業界、企業】
- ・ 他事業や他機関と連携した広報の強化【市】

建設業のPR
動画を掲載

(1) 推進協議会ホームページの運営・更新

- ・ 令和6年2月に開設した推進協議会ホームページ「さっぽろけんせつガイド」について、北海道開発局で実施している「建設業の魅力発信コンテスト」の受賞作品を追加
- ・ 建設業PRパンフレットにQRコード等を記載し、各種イベントで周知。



(2) 各種現場見学ツアーの実施

| 名称 | 時期 | 参加者数 |
|--------------------|-------|---------|
| 夏休み親子土木施設見学ツアー | 8/1・2 | 33組 76名 |
| 現場見学会（北海道学園大学2年） | 9/18 | — |
| 現場見学会（北海道科学大学2年） | 10/3 | — |
| 現場見学会（札幌工業高校1年） | 10/21 | — |
| 土木施設めぐり女子ツアー | 10/5 | — |
| 建築工事の現場見学会（札幌市立大学） | 11月 | — |

土木と設備を
合わせて実施



夏休み親子ツアー2024

(3) 各種イベント等へのブース出展

| 名称 | 時期 | 場所 | 主な対象 |
|------------------|------------|-------------|---------|
| 環境広場さっぽろ | 8/24・25 | さっぽろドーム | 小学生と保護者 |
| 下水道科学館フェスタ2024 | 9/7・8 | 下水道科学館（北区） | 小学生と保護者 |
| ジモトのシゴト ワク!WORK! | 9/17・18 | つどーむ（東区） | 高校生 |
| ミニさっぽろ2024 ※除雪事業 | 9/30・10/1 | アクセスサッポロ | 小学生 |
| 札幌市図書・情報館での特別展示 | 9/26～12/24 | さっぽろ創世スクエア | 高校生、一般者 |
| 建設産業ふれあい展 | 1/11・12 | 地下歩行空間（中央区） | 小学生と保護者 |

(4) 学校と連携したPRの実施

- ・ 札幌商工会議所が実施する中学生を対象とした建設産業の「体験授業」の拡大に向けた連携強化
- ・ 小中学校を対象とした「雪と暮らすおはなし発表会」の実施予定
- ・ 小学校における「雪体験授業」の実施予定

(5) 各種メディアを活用したPRの実施

- ・ 札幌市広報番組を活用した道路事業や建設の仕事の紹介
※テレビ「サッポロスマイル（HBC）」8/25（日）放送



テレビ「サッポロスマイル」

重点施策Ⅱ：担い手の確保・定着に向けた「環境整備」の推進

Point：若者や女性が働きやすい環境づくりの推進

- ・ 女性の活躍や現場従事者の負担軽減につながる働き方の検討【業界、企業】
- ・ 若手入職者の育成に関する取組の推進【業界、企業】
- ・ 人材確保や労働環境改善につながる助成金制度の見直し等の検討【市】

(1) 助成金制度の実施

- ・ 令和6年度も下表の6つのメニューの助成を実施

| メニュー | 助成額 | 実績 | |
|-----------------------|--------------------------------|-----|----|
| | | R4 | R5 |
| ①女性用トイレ・更衣室設置への助成 | 1箇所あたり最大50万円 | 11 | 12 |
| ②女性の作業服等の装備品購入に対する助成 | 1人あたり最大3万円 | 12 | 16 |
| ③企業のインターンシップ受入れに対する助成 | 2日で7万円、3日以上で10万円 | 34 | 25 |
| ④大型特殊免許取得に係る費用の助成 | 1人あたり最大4万円 | 41 | 19 |
| ⑤サッポロQMS認証取得に係る助成 | 取得費の半額、最大25万円 | 3 | 5 |
| ⑥ICT施工導入支援に係る助成 | 施工に50万円、研修参加に3万円、研修実施に3万円or6万円 | 8 | 11 |
| 合計 | | 109 | 88 |

(2) 助成金制度の見直し

- ・ 担い手確保につながる助成制度の対象拡大や新設の検討（インターンシップ、免許・資格取得など）

重点施策Ⅲ：時間外労働の縮減に向けた「働き方改革」の推進

Point：定期的な休日の確保や時間外労働の縮減に向けた取組を推進

- ・ 業界の休日確保に関する市民理解の向上に向けた広報の実施【市、業界、企業】
- ・ 工事の施工時期及び業務の履行期限に関するさらなる平準化の推進【市】
- ・ 書類作成に関する負担軽減に向けたガイドラインの作成【市】

(1) 週休2日試行工事の発注

- ・ 時間外労働の上限規制への対応に向け、令和6年度から「週休2日を標準」とする工事発注を実施

| 年度 | R3実績 | R4実績 | R5実績 | R6 |
|-----------|-------|-------|--------|-----|
| ①週休2日試行工事 | 650件 | 958件 | 1,105件 | 標準化 |
| ②4週8休達成 | 571件 | 824件 | 847件 | — |
| 達成割合(②/①) | 87.8% | 86.0% | 76.7% | — |

- ・ 更なる週休2日の質の向上のため、「月単位の週休2日確保」に向けた取組を検討
- ・ 建設業の休日確保に向けた市民理解の醸成に向け、PRポスターを作成予定 ※別紙資料

(2) 工事の施工時期の平準化

- ・ 「早期発注（4～6月の稼働件数）」は、工事発注全体の5～6割程度となっており、令和6年度も6割程度の発注予定
- ・ 余裕期間制度（フレックス方式）適用は、2割程度となっており、令和6年度も同程度の実施予定

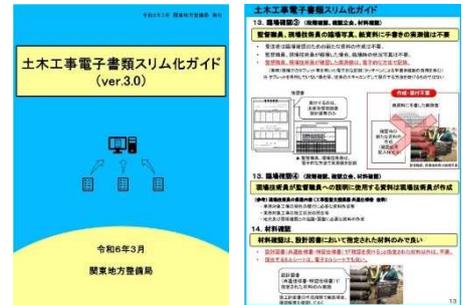
| 年 度 | R 3実績 | R 4実績 | R 5実績 | R 6 予定 |
|--------|------------------|------------------|------------------|------------|
| 早期発注 | 634 件 (54.0%) | 686 件 (55.4%) | 639 件 (59.6%) | 一件 (-%) |
| 余裕期間制度 | 266 件 (22.7%) | 244 件 (19.7%) | 258 件 (24.1%) | 一件 (-%) |

(3) 業務の履行期限の平準化

- 「早期発注」に取り組むほか、「年度を跨いだ履行期間を設定した業務発注」を実施予定

(4) 工事書類の作成に関する負担軽減

- 提出書類の縮減に向けた、必要書類を明確化するガイドラインを年度内に作成予定



重点施策Ⅳ：生産性向上に向けた「建設DX」の推進

Point：ICT導入の促進に向けた取組を推進

- ICTの活用拡大に向けた環境の整備【市】
- 小規模工事においても取り組みやすいICTの活用方法の検討【市】
- 工事・業務における提出書類の電子化の推進【市、業界、企業】

(1) ICT 活用工事の発注

- ICT活用工事の発注は、毎年拡大しており、令和6年度は57件発注予定

| 年 度 | R 3実績 | R 4実績 | R 5実績 | R 6 予定 |
|----------------|-------|-------|-------|--------|
| ICT 試行工事の発注件数 | 25 件 | 28 件 | 49 件 | 57 件 |
| 上段：工事件数、下段：工種数 | 26 工種 | 30 工種 | 54 工種 | 68 工種 |

※令和5年度からは、新たに土工（1,000m³以下）の工種を拡大（既存：土工、舗装工（路盤）、舗装工（修繕工）、地盤改良工）

(2) ICT 研修の実施

- 受注者向けの「ICT研修」を、今年度（令和6年度）から開始

(3) ICTに関する情報発信の強化

- ICT 施工に関するホームページや相談窓口、ICTアドバイザー制度（開発局）を開始

(4) 電子納品の標準化

- 土木部所管工事における電子納品の促進に向けた取組を開始

(5) ICT を活用した作業等の効率化

- 工事における「遠隔臨場」について、発注者指定型及び受注者希望型を合わせて活用を継続
 - 工事における「ASP（工事情報共有システム）」について、受注者からの提案に応じて活用を実施
- ※都市局建築部発注工事においては、一定の額、工期を超えるものについて発注者指定型を原則

(5) 除排雪作業の効率化・省力化に向けたICTの活用

- 冬みちプラン2018・実行プログラムに基づき、「1人乗り除雪機械の導入拡大」や「雪堆積場等選定システムの構築」などを実施予定



建設業の週休2日確保に対する市民理解醸成に向けたPRポスター案

①市民・事業者向け

デザインのコンセプト

日常的に誰でも見覚えのあるスイッチ風のアイコンをメインビジュアルとし、オン「仕事」オフ「休み」をヘルメット姿のアイコンと共に2Daysの言葉を添えわかりやすく表現。

下部には、つい要望しがちなコメントと共に「×」印を施すことで、具体的な対策を提案すると共に、笑顔のアイコンを用いることで、強い主張になりすぎず、週休2日制に対し、市民や民間事業者の自主的な意識醸成を図る。

主な周知方法（想定）

人が集まる施設やイベントでの掲示、協議会ホームページ等への掲載など

「オン」と「オフ」をハッキリ分けて
効率的な職場づくり実現へ。

ON
OFF

2Days

**建設業も
週休2日制**

2024年4月から時間外労働の上限規則が適用になりました。

建設業の週休2日制について理解を深めましょう

急いで完成して! ×
大至急ヨロシク! ×
休日に作業して! ×

さっぽろ建設産業活性化推進協議会

②業界向け

デザインのコンセプト

建設現場で働く男女が充実した表情で今週も頑張った自分を心の中で褒めている場面設定。

女性側には柔軟な働き方ができる環境であることを記し、男性側では週休2日制という働き方に加えて残業や時間外労働の上限規制を目指す業界であることを強調。業務と休暇のバランスが取れたこれからの建設業を、目標や夢を持つ若者のキラキラした表情のカットと朝の光をイメージした円を描くことで表現している。

主な周知方法（想定）

市発注工事の受注者への配布、札幌市ホームページ等への掲載など

今週のワタシも

女性も働きやすい
柔軟な働き方
の促進

育児休業後の
復帰時サポート
仕事と育児、介護
等と両立しやすい
環境整備

短時間勤務、
フレックスタイム制
テレワークや
ワークシェアリングが
できる環境整備

いいよ、建設。

お疲れさま。

時間外労働
+ 休日労働
1か月100時間未満、
2～6か月平均
80時間以内

優しく
短い工期は
禁止
されています

週休2日制。
2024年4月より **働き方、変わりました**
時間外労働の上限規制適用

残業時間の上限
1か月 45時間
1年 360時間

さっぽろ建設産業活性化推進協議会

令和 6 年度の取組予定に関する 各団体への照会結果

令和 6 年度
第 1 回さっぽろ建設産業活性化推進協議会

- ・本資料は、照会時点での取組予定をまとめさせていただいておりますので、その後の新たな情報については、随時更新いたします。

【報告1】ホームページの活用等による情報発信体制の充実

| | |
|---------------|--|
| 照会内容 | 貴団体及び会員企業における「ホームページやSNS等の開設や内容充実」に関する取組を教えてください。 |
| (参考) プランの記載内容 | 1-1-3 札幌市や建設業界のホームページの活用等による情報発信体制の充実 (P69) 業界団体、企業からの積極的な情報発信が建設産業や各企業に対する理解促進につながることから、業界団体、企業のホームページ・SNS等の開設拡大・内容充実を図ることにより、情報発信の強化を目指します。 |

| No. | 団体名 | 令和5年度取組状況 | 令和6年度取組予定 |
|-----|-----------------------|--|--|
| 1 | (一社)札幌建設業協会 | ・制作したPRマンガ、YouTubeに掲載したPR動画等を活用し、情報発信を行った(団体) | ・制作したPRマンガ、YouTubeに掲載したPR動画等を活用し、情報発信を行う(団体) |
| 2 | 札幌市土木事業協会 | ・従来はPC用専用のホームページであったが、今年からスマホ専用画面の追加を検討している(会員企業) ・工事の掲示板にQRコードを埋め込みPRにあたる予定～継続(会員企業) ・YouTubeで人材募集等の広告を行っている～継続(会員企業) | ・従来はPC用専用のホームページであったが、今年からスマホ専用画面の追加を検討している～継続(会員企業) ・工事の掲示板にQRコードを埋め込みPRにあたる予定～継続(会員企業) ・YouTubeで人材募集等の広告を行っている～継続(会員企業) |
| 3 | (一社)札幌中小建設業協会 | ・令和4年にリニューアルしたホームページを活用し、学生向けの記事内容の発信に配慮しながら、情報発信体制の充実に取組んだ(協会及び会員企業) | ・令和4年にリニューアルしたホームページを活用し、学生向けの記事内容の発信に配慮しながら、情報発信体制の充実に取組む予定。(協会及び会員企業) |
| 4 | (一社)北海道舗装事業協会 | ・HPに求職者や一般向けコンテンツを拡充(団体) | ・HPに求職者や一般向けコンテンツを拡充(団体) ・業界のイメージアップを図る新たなウェブサイトの開設(団体) |
| 5 | 札幌会 | ・会員企業の情報発信推進(ホームページ開設等)に向けた取組み | ・会員企業の情報発信推進(ホームページ開設等)に向けた取組み |
| 6 | 札幌市除雪事業協会 | ・R4.2.1に開設したホームページを継続 | ・令和4年2月に開設したホームページを継続 |
| 7 | 札幌塗装工業協同組合 | ・若年者向けに求人情報を組合HPに載せて情報発信を実施(団体) ・既成の塗装PR誌と各組合員の求人合体させた組合求人誌を作成(団体及び会員企業) ・札幌商工会議所の企画による任期制自衛官向け業界研修に参加(組合求人誌を活用。団体) ・札幌商工会議所の企画による道内高校との連携強化事業に参加(団体及び会員企業) ①インターンシップ ②就職情報交換会 ③出張型企業説明会 | ・若年者向けに求人情報を組合HPに載せて情報発信を実施(団体) ・既成の塗装PR誌と各組合員の求人合体させた組合求人誌を作成(団体及び会員企業) ・札幌商工会議所の企画による任期制自衛官向け業界研修に参加(組合求人誌を活用。団体) ・札幌商工会議所の企画による道内高校との連携強化事業に参加(団体及び会員企業) ①インターンシップ ②就職情報交換会 ③出張型企業説明会 |
| 8 | (一社)北海道造園緑化建設業協会 札幌支部 | ・HPで協会各会員の事業紹介を更新(団体) ・10月に「造園技術講演会」、3月に「植生技術講演会」を開催(団体) ・植生施工管理技士資格研修会(試験による資格認定)を4月に実施(団体) ・北海道緑の景観フォトコンテスト・街路樹編を実施(団体) ・毎月1回、北造協ニュース発刊とHP掲載(団体) ・年2回、広報誌みどりの発刊とHP掲載(団体) | ・HPで協会各会員の事業紹介を更新(団体) ・10月に「造園技術講演会」、3月に「植生技術講演会」を開催予定(団体) ・植生施工管理技士資格研修会(試験による資格認定)を実施予定(団体) ・北海道緑の景観フォトコンテスト・街路樹編を実施予定(団体) ・毎月1回、北造協ニュース発刊とHP掲載予定(団体) ・年2回、広報誌みどりの発刊とHP掲載予定(団体) |
| 9 | (一社)札幌電設業協会 | 会員企業によるホームページやSNSを活用した取組 ・Instagram、フェイスブック、公式ラインの活用 ・ホームページに先輩社員の声を掲載(随時更新) ・学生向けにスマホで閲覧しやすいデザインに変更予定 ・社内での行事・取組等を積極的に配信予定 | 会員企業によるホームページやSNSを活用した左記に掲げた取組の継続 ・開設済みのホームページの部分リニューアルを検討 ・YouTubeを利用した企業紹介 |
| 10 | (一社)札幌空調衛生工事業協会 | ・ホームページの記載内容を最新の情報にするため適時更新するよう努めた(団体) | ・ホームページの掲載情報が古いものを削除し、記載項目を再整備し内容の充実に取り組む予定(団体) |
| 11 | 札幌市管工事業協同組合 | ・YouTubeで札幌協のPR映像を11月～2月の期間で広告配信予定(団体) | ・管工事業界の業務内容を初心者にも分かりやすく、かつ、中高生等への業界のイメージアップを目的としたP |

令和6年度の取組予定に関する各業界団体への照会（さっぽろ建設産業活性化推進協議会）

| | | | |
|----|-----------------------|--|--|
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・管工事業界の業務内容を初心者にも分かりやすく、かつ、中高生等への業界のイメージアップを目的としたPR動画を製作し、ホームページに掲載（団体） | <ul style="list-style-type: none"> ・R動画を制作し、ホームページ（PC用及びスマホ用ページ）に掲載（団体） ・YouTubeで団体のPR映像を令和6年11月～2月の期間で広告配信予定（団体） |
| 12 | 札幌管和会 | <ul style="list-style-type: none"> ・会員企業で取組予定 | <ul style="list-style-type: none"> ・会員企業で取組予定 |
| 13 | 札幌環境維持管理協会 | <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度に開設したホームページを活用して、会員内外に情報を発信（団体） | <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度に開設したホームページを活用して、会員内外に情報を発信（団体） |
| 14 | 札幌建具工業協同組合 | <ul style="list-style-type: none"> ・2017年にホームページを開設し、現在も継続して運用しております（団体） ・当組合の組織、各種事業（組合員）、社会貢献事業等の最新情報の発信を行う（団体） | <ul style="list-style-type: none"> ・2017年にホームページを開設し、現在も継続して運用しております（団体） ・当組合の組織、各種事業（組合員）、社会貢献事業等の最新情報の発信を行う（団体） |
| 15 | (一社)建設コンサルタンツ協会 北海道支部 | <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年11月にリニューアルしたホームページを活用して、会員内外に情報を発信（団体） | <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年11月にリニューアルしたホームページを活用して、会員内外に情報を発信（団体） |
| 16 | 札幌市設計同友会 | <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページに採用情報等を掲載（会員企業） | <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページに採用情報等を掲載（会員企業） |
| 17 | 札幌市測友会 | <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページでの活動内容を更新し、会員を含め、広く業界のPRを実施 ・社会貢献事業の一環として、札幌市が管理する街区基準点の破損・損失の確認を実施した。（「6月3日測量の日」土曜日につき前日に報告）HPに掲載 | <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページでイベント毎に活動内容を更新して、会員及び広く業界のPRを実施する ・社会貢献事業の一環として、札幌市が管理する街区基準点の清掃・破損の確認を実施する（6月3日測量の日に掲載予定） |
| 18 | (一社)北海道設備設計事務所協会 | <ul style="list-style-type: none"> ・会員のHP開設を推進（団体） ・今後のIT化にむけてデジタル委員会の推進（団体） | <ul style="list-style-type: none"> ・会員のHP開設を推進（団体） ・会員内外に講習会、イベント等の情報発信（団体） |
| 19 | (一社)北海道建築士事務所協会 札幌支部 | — | — |

【報告2】女性の活動団体との連携強化

| | |
|------------------|---|
| 照会内容 | 貴団体及び会員企業における「女性就業者の魅力発信」につながる取組を教えてください。 例1：女性主体で構成される活動団体への支援等 例2：女性技術者等を対象とした交流・研修・PR等 |
| (参考) プランの記載内容 | 1-2-2 女性の活動団体との連携強化 (P70) 建設産業に関わる女性主体で構成される活動団体との連携強化により、企業の枠を超えて女性の技術者等が集まり、交流・研修・PR等に精力的に取り組むことで、建設分野における女性活躍を推進するとともに団体の活動に対する支援策を検討します。 |

| No. | 団体名 | 令和5年度の取組状況 | 令和6年度の取組予定 |
|-----|-----------------------|--|---|
| 1 | (一社)札幌建設業協会 | ・札幌市主催の「土木施設めぐり女子ツアー」に協力(団体及び会員企業) | ・札幌市主催の「土木施設めぐり女子ツアー」に協力予定(団体及び会員企業) |
| 2 | 札幌市土木事業協会 | ・求人採用範囲を未経験者からとして広げて、女性の採用を促進する予定。～継続(会員企業) | ・求人採用範囲を未経験者からとして広げて、女性の採用を促進する予定。～継続(会員企業) |
| 3 | (一社)札幌中小建設業協会 | ・女性技術者の「どさん娘の会」所属を継続した(会員企業) | ・女性技術者の「どさん娘の会」所属を継続する予定(会員企業) |
| 4 | (一社)北海道舗装事業協会 | ・アンケート調査に基づく女性技術者数などの実態を情報共有・情報発信(団体) | — |
| 5 | 札幌会 | — | — |
| 6 | 札幌市除雪事業協会 | — | — |
| 7 | 札幌塗装工業協同組合 | — | — |
| 8 | (一社)北海道造園緑化建設業協会 札幌支部 | ・当協会の会員企業に所属する女性職員で組織する「緑麗会」により、札幌市の大通花壇造成事業に参加し、当協会女性職員がデザインした「春花壇」と「夏花壇」を造成した(団体) | ・当協会の会員企業に所属する女性職員で組織する「緑麗会」により札幌市の大通花壇造成事業に参加し、当協会女性職員がデザインする「春花壇」と「夏花壇」の造成に取り組む(団体) |
| 9 | (一社)札幌電設業協会 | 会員企業による取組 ・全日電工連女性部会員と情報交換・交流を図る予定 ・各学校との情報連携を進める予定 ・産休・育休取得が対象となる従業員への支援 | 会員企業によるホームページやSNSを活用した左記に掲げた取組の継続 ・ホームページやSNSを活用し、女性社員の言葉を発信する予定 |
| 10 | (一社)札幌空調衛生工事業協会 | ・設備女子会への入会促進を継続して取組むほか、コロナ禍で実施できなかった会員間の交流・研修の支援に努めた(団体) | ・当協会の広報誌[KIRAMEKI]に学生向け就職案内として会員企業の「業界で頑張っている女性たち」から日常業務内容、職場環境や業界に対する女性の視点などを投稿してもらい、女性が働きやすい業界であることを紹介する内容を掲載し、広く道内の大学に配布する(団体) |
| 11 | 札幌市管工事業協同組合 | — | ・一般社団法人 建築設備技術者協会 北海道支部 設備女子会に、北海道札幌琴似工業高等学校インターンシップ 事前講義の講師を依頼(団体) ※平成29年度から ・関係団体(北海道中小企業団体中央会)主催の女性研修会へ職員参加(団体) |
| 12 | 札幌管和会 | — | — |
| 13 | 札幌環境維持管理協会 | — | — |
| 14 | 札幌建具工業協同組合 | — | — |
| 15 | (一社)建設コンサルタント協会 北海道支部 | — | — |
| 16 | 札幌市設計同友会 | — | — |
| 17 | 札幌市測友会 | 札幌商工会議所主催による、建設業で活躍する女性社員の座談会を開催予定。 会員企業から1名の女性技術者を派遣予定(8月中旬)座談会内容を編集し「ジモトのシゴト ワク!WORK!」のパンフレットとして配布する。 | ・女性技術者座談会の冊子を「ジモトのシゴト ワク!WORK!」のパンフレットとして配布する |
| 18 | (一社)北海道設備設計事務所協会 | ・他協会女子会との交流 ・他協会主催の見学会・講演会・セミナー・交流会の参加 | ・他団体設備女子会の見学会・講演会・セミナー・交流会等への参加を推進(団体・会員企業) |
| 19 | (一社)北海道建築士 | — | — |

令和6年度の取組予定に関する各業界団体への照会（さっぽろ建設産業活性化推進協議会）

| | | | |
|--|------------|--|--|
| | 事務所協会 札幌支部 | | |
|--|------------|--|--|

【報告3】週休2日及び年間トータルでの休暇取得の推進

| | |
|------------------|--|
| 照会内容 | 貴団体や会員企業における「時間外労働の上限規制」に対応するために行う取組を教えてください。 例1：週休2日の確保や適正な休暇の取得に向けた取組 例2：労働時間縮減に向けた取組 |
| (参考) プランの記載内容 | <p><u>2-1-1 週休2日工事の実施拡大 (P72)</u></p> <p>① 働き方改革の実現のため、週休2日の導入等に積極的に取り組みます。</p> <p>② 週休2日の導入と併せて、関連する次の取組についても最大限考慮します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 下請契約の締結等は、国の通知に基づき適正に実施します。【施策 5-4-1】 ● 下請企業においても、月給制の導入を考慮するなど、労働者の週休2日の希望に応えることのできる労働環境の確保を目指します。 <p><u>2-5-1 各企業での週休2日の確保、または年間トータルでの休暇取得の推進 (P78)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 工事や業務の受注者においても、工事や業務の規模、難易度や地域の実情、不稼働日等を踏まえた適正な工期を確保するとともに、下請業者も含めて工程管理の徹底を図ります。 ● 現場では週休2日の確保を目指すこととし、土日閉所が可能な現場では、その促進を図ります。 ● 現場条件やその他の理由により週休2日の確保が難しい場合も含めて、現場で働く全ての人が年間トータルでの適正な休暇を取得できるよう努めます。 ● 建設業界全体の意識の醸成のために、国や道・市の発注工事で一体的に行う統一土曜閉所等に、積極的に取り組みます。 |

| No. | 団体名 | 単位 | 令和5年度の取組状況 | 令和6年度の取組予定 |
|-----|---------------|------|--|--|
| 1 | (一社)札幌建設業協会 | 団体 | <ul style="list-style-type: none"> ・働き方改革に向けた会員企業を対象としたセミナーや相談会等の開催 (団体) ・国、北海道、札幌市との意見交換会において、週休2日工事の普及に向けた諸課題の解決策などの協議を行った (団体) | <ul style="list-style-type: none"> ・当協会が属する全国組織で「働き方改革に関するアンケート」を実施 (継続) ・国、北海道、札幌市との意見交換会において、週休2日工事の普及に向けた諸課題の解決策などの協議を予定 (継続) |
| | | 会員企業 | <ul style="list-style-type: none"> ・当協会が属する全国組織で「目指せ週休2日+360時間」運動を展開 | <ul style="list-style-type: none"> ・当協会が属する全国組織で「目指せ週休2日+360時間」運動を展開 (継続) |
| 2 | 札幌市土木事業協会 | 会員企業 | <ul style="list-style-type: none"> ・週休2日制を今年度より規定とする。また、下請け会社にも協力をお願いして、その経費の上乗せを行う予定～継続 ・原則、週休2日制を実施しているが、冬期間の除排雪時には確保が難しいため、代替休暇を取らせている。残業時間は0時間を目標に取り組んでおり、そのための増員を進めている～継続 ・就業時間、代替休暇取得を携帯アプリやサーバーで管理し、管理者に情報を共有して就業状況を把握～継続 (会員企業) ・有給休暇を積極的に取るように、会社からの指示を現場担当者に行い、そのための増員を会社として積極的に人員募集に努めている～継続 (会員企業) | <ul style="list-style-type: none"> ・週休2日制を今年度より規定とする。また、下請け会社にも協力をお願いして、その経費の上乗せを行う予定～継続 ・原則、週休2日制を実施しているが、冬期間の除排雪時には確保が難しいため、代替休暇を取らせている。残業時間は0時間を目標に取り組んでおり、そのための増員を進めている～継続 ・就業時間、代替休暇取得を携帯アプリやサーバーで管理し、管理者に情報を共有して就業状況を把握～継続 (会員企業) ・有給休暇を積極的に取るように、会社からの指示を現場担当者に行い、そのための増員を会社として積極的に人員募集に努めている～継続 (会員企業) |
| 3 | (一社)札幌中小建設業協会 | 会員企業 | <ul style="list-style-type: none"> ・時間外労働の上限規制に努めるため、月30時間の見込み残業制度に取組んだ ・都市型土木の性質上、現場事務所の設置が困難な場合があるが、時間外労働の短縮に向けて、車両型事務所を購入し帰社後の机上残業の短縮に努めた ・繁忙期での週休2日の確保が難しいため、年間トータルで運用した ・通年雇用月給制に移行し、週休2日に対応できる労働環境を確保した | <ul style="list-style-type: none"> ・時間外労働の上限規制に努めるため、月30時間の見込み残業制度に取組む予定 ・都市型土木の性質上、現場事務所の設置が困難な場合があるが、時間外労働の短縮に向けて、車両型事務所を購入し帰社後の机上残業の短縮に努める予定 ・繁忙期での週休2日の確保が難しいため、年間トータルで運用する予定 ・通年雇用月給制に移行し、週休2日に対応できる労働環境を確保する予定 |
| 4 | (一社)北海道舗装事業協会 | 団体 | <ul style="list-style-type: none"> ・月3回の土日連続休日による4週7休を努力目標に設定し、実施状況を毎月調査 (団体) | <ul style="list-style-type: none"> ・土日連続休日による4週8休を努力目標に設定し、実施状況を毎月調査 (団体) |
| 5 | 札幌会 | 団体 | <ul style="list-style-type: none"> ・時間外労働時間の上限規制や働き方改革に関し2回目の研修会を実施する予定 | <ul style="list-style-type: none"> ・会員相互の意見交換会や研修会を実施する予定 |
| 6 | 札幌市除雪事業協会 | — | — | — |
| 7 | 札幌塗装工業協同組合 | — | <ul style="list-style-type: none"> ・働き方改革支援センターの協力のもと、働き方改革に向けた会員企業を対象とした講習会や相談会の開催 | <ul style="list-style-type: none"> ・働き方改革支援センターの協力のもと、働き方改革に向けた会員企業を対象とした相談の実施 |

令和6年度の取組予定に関する各業界団体への照会（さっぽろ建設産業活性化推進協議会）

| | | | | |
|----|-----------------------|------|---|--|
| 8 | (一社)北海道造園緑化建設業協会 札幌支部 | | — | ・札幌市との意見交換会において、週休2日工事の普及に向けた諸課題の解決策などの協議を予定（団体） |
| 9 | (一社)札幌電設業協会 | 会員企業 | <p>会員企業による下記の取組実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・週休2日を土日に限定せず、変形労働制で対応 ・2024年4月より適用となる「時間外労働の上限規制」について、適用準備に向け、2023年度を「上限規制に向けた本番同様の運用（プレ）期間」と位置づけ、「上限規制適用後の36協定での労働時間管理」を実施し、本番同様の労働時間管理を行うことで、現在の働き方・働かせ方の見直しを効果的に実施することを予定 ・令和5年4月1日より完全週休二日制の導入予定 ・システム導入による、ペーパーレスや業務効率化の検討 | <p>会員企業による下記の取組実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・システム導入による、ペーパーレスや業務効率化の検討 ・2024年4月より適用となる「時間外労働の上限規制」について、「上限規制適用後の36協定での労働時間管理」を実施。週休2日や変形労働制などで対応。 ・適正な休暇を取得できるよう、適正な配置や工期工程の配慮を実施 ・公共工事部門にて週休二日を実施 ・令和6年4月1日より完全週休二日制の導入予定年間休日122日とする。 ・発注者側への働きかけを行うため、「時間外労働の上限規制適用に向けたご理解ご協力をお願い」と題した活動チラシを作成し、協力依頼を実施。（日本電設工業協会作成のチラシと併用） ・週休2日を土日に限定せず、変形労働制と2人体制の管理で取り組む予定 |
| 10 | (一社)札幌空調衛生工事業協会 | 団体 | ・上部団体（（一社）日本空衛協会）が実施する「働き方改革セミナー」に会員の参加（リモート参加が可能）を要請し、情報提供に努めた（団体） | ・開発局、防衛局、北海道、札幌市との意見交換会において、週休2日工事の普及に向けた要望活動を予定している（団体） |
| 11 | 札幌市管工事業協同組合 | 団体 | ・週休2日、年5日の年次有給休暇の確実な取得を実施済（団体） | ・関係機関からの通知文を組合員へ周知（団体） ・週休2日、年5日の年次有給休暇の確実な取得を実施（団体） |
| 12 | 札幌管和会 | 会員企業 | ・会員企業で取組む予定 | ・今年、週40時間が施行するため、各会員で取組んでいます |
| 13 | 札幌環境維持管理協会 | 団体 | ・働き方改革についてのセミナーの実施（団体） | — |
| | | 会員企業 | ・時間外労働の削減など働き方の取組（会員企業） | ・時間外労働の削減など働き方の取組（会員企業） |
| 14 | 札幌建具工業協同組合 | 団体 | ・昨年度より試験的に実施しておりました週休2日制は完全に実施可能でしたので、今後就業規則等の整備を予定しております（整備中）。又、時間外労働に関しては特別なイベント等（合同安全大会・新年交礼会・親睦会）以外の時間外労働はゼロでした。 | ・週休2日制は完全実施 ・時間外労働は特別なイベント等（合同安全大会・新年交礼会・親睦会）以外の時間外労働はゼロ |
| | | 会員企業 | ・1年単位での変形労働時間制とし、1週間当たりの労働時間を40時間以内となる様に労使協定を締結する | ・1年単位での変形労働時間制とし、1週間当たりの労働時間を40時間以内となる様に労使協定を締結する |
| 15 | (一社)建設コンサルタンツ協会 北海道支部 | 団体 | <p>下記の取組を継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業界一斉「毎週水曜日をノー残業デー」の実施 | <p>下記の取組を継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業界一斉「毎週水曜日をノー残業デー」の実施 |
| 16 | 札幌市設計同友会 | | — | — |
| 17 | 札幌市測友会 | 団体 | ・完全週休二日制の導入は、外業が主体の業務であるため時期・降雨等での影響が大きく、一年間を通して休暇取得の推進に努める。実際の取得率を聞き取る予定である。 | ・完全週休二日制の導入は、外業が主体の業務であるため時期・降雨等での影響が大きく、一年間を通して休暇取得の推進に努める |
| 18 | (一社)北海道設備設計事務所協会 | 団体 | <ul style="list-style-type: none"> ・週休二日制の継続 ・時間外労働制限の継続 ・ノー残業デーの推進 ・テレワークの推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・週休二日制の継続 ・時間外労働制限の継続 ・ノー残業デーの推進 ・テレワークの推進 ・業務の効率化、簡素化及び設計工期の平準化を発注者に求めていく |
| | | 会員企業 | <ul style="list-style-type: none"> ・週休二日制の継続 ・時間外労働制限の継続 ・有給休暇取得の推進 ・作業の効率化、簡素化を発注者に求めていく | <ul style="list-style-type: none"> ・週休二日制の継続 ・時間外労働制限の継続 ・有給休暇取得の推進 |
| 19 | (一社)北海道建築士事務所協会 札幌支部 | | — | — |

【報告4】学生等の入職促進及び定着に向けた取組の推進

(1) 就業環境の整備

| | |
|------------------|---|
| 照会内容 | 貴団体や会員企業における「就業環境の整備」につながる取組を教えてください。 例1：働き方改革や就業環境の整備 例2：相談窓口の設置 |
| (参考) プランの記載内容 | 3-1-1 働き方改革や就業環境の整備、人材育成の推進 (P79) 各企業が就職先として選ばれ、就業者の定着や能力発揮につなげるため、働き方改革や就業環境の整備、人材育成等の取組の推進を図ります。 |

| No. | 団体名 | 令和5年度の取組状況 | 令和6年度の取組予定 |
|-----|-----------------------|--|---|
| 1 | (一社)札幌建設業協会 | ・国、北海道、札幌市との意見交換会において、週休2日工事の普及に向けた諸課題のひとつとして労務費などの協議を行った(団体) | ・国、北海道、札幌市との意見交換会において、週休2日工事の普及に向けた諸課題のひとつとして労務費などの協議を予定(団体・継続) |
| 2 | 札幌市土木事業協会 | ・手軽に相談できる携帯電話アプリでの連絡手段の確立や、外部の人材育成プランに参加を予定～継続(会員企業) | ・手軽に相談できる携帯電話アプリでの連絡手段の確立や、外部の人材育成プランに参加を予定～継続(会員企業) |
| 3 | (一社)札幌中小建設業協会 | ・社員間で仕事の労をねぎらう「サンクスカード」のやり取りを継続した(会員企業) ・社内に休憩室を設け、マッサージチェアを置き、安らぎの場とした(会員企業) ・日本ハムの年間シートを2席確保した(会員企業) | ・社員間で仕事の労をねぎらう「サンクスカード」のやり取りを継続する予定(会員企業) ・社内に休憩室を設け、マッサージチェアを置き、安らぎの場とする予定(会員企業) ・日本ハムの年間シートを2席確保する予定(会員企業) |
| 4 | (一社)北海道舗装事業協会 | ・新規採用者へのアンケート調査結果を情報共有・情報発信(団体) | ・若手技術者向けの研修の内容を充実(団体) |
| 5 | 札幌会 | — | — |
| 6 | 札幌市除雪事業協会 | — | 「ジモトのシゴト ワク!WORK!」へ札幌市建設局雪対策室と合同で参加 |
| 7 | 札幌塗装工業協同組合 | — | ・札幌商工会議所主催のインターシップ事業等に参画(団体及び会員企業) ・会員企業は新卒入職者(高校)並びに転職者を組合が運営する塗装技術学院(職業訓練校)に入校させ学ばせる(団体及び会員企業) ・組合青年部会を組織しており、ここで会員交流会・家族交流会、技術講習会、経営講習会及びボランティア事業等活発な活動を通じて、若手技能者や若手経営者の技術の向上並びに知識のスキルアップとともに横の連携を図る |
| 8 | (一社)北海道造園緑化建設業協会 札幌支部 | ・ノー残業デーの実施、有給休暇の取得促進(会員企業) | ・ノー残業デーの実施、有給休暇の取得促進(会員企業) |
| 9 | (一社)札幌電設業協会 | 会員企業による下記の取組実施 ・引続きインターンシップ制度を採用していく予定 ・時間外労働削減の取り組み強化、有給取得率の向上(計画的な取得) ・今年度も引き続き現場の作業環境や若手社員の技術講習への参加と各現場の視察での相談体制に取り組んで行く予定 ・システム導入による、ペーパーレスや業務効率化の検討 | 会員企業による左記の取組の継続 ・定期的に若手社員とコミュニケーションを取り精神状況の確認を行う ・有給休暇の消化促進 |
| 10 | (一社)札幌空調衛生工事業協会 | ・インターンシップの受け入れ事業を実施した ・協会の広報誌に就業環境の紹介記事を掲載し、理系校に配布した | ・インターンシップの受け入れ事業を実施する予定 ・協会の広報誌に就業環境の紹介記事を掲載し、理系校に配布する予定 |
| 11 | 札幌市管工事業協同組合 | ・職場におけるパワーハラスメント対策(相談窓口の設置)を実施済(団体) | ・関係機関からの通知文を組合員へ周知(団体) ・職場におけるハラスメント対策(相談窓口の設置や職員向けの研修会)を実施(団体) |
| 12 | 札幌管和会 | — | ・企業のイメージUP又は報酬について考えて行きたい |
| 13 | 札幌環境維持管理協会 | ・新規採用者へのインターンシップの活用(会員企業) | ・新規採用者へのインターンシップの活用(会員企業) |
| 14 | 札幌建具工業協同組合 | — | — |

令和6年度の取組予定に関する各業界団体への照会（さっぽろ建設産業活性化推進協議会）

| | | | |
|----|-----------------------|---|---|
| 15 | (一社)建設コンサルタンツ協会 北海道支部 | <p>下記の取組を継続</p> <ul style="list-style-type: none"> 行政機関への要望活動（担い手確保・育成のための環境整備要望）（団体） 協会本部に「働き方改革推進特別本部」設置（団体） 業界一斉「毎週水曜日をノー残業デー」の実施（団体） 働き方改革セミナーを開催（団体） ウィークリースタンスを含めた様々な施策の実態調査（団体） えるぼし認定、くるみん認定やダイバーシティー推進等の取組み（講習会など）（団体） | <p>下記の取組を継続</p> <ul style="list-style-type: none"> 行政機関への要望活動（担い手確保・育成のための環境整備要望）（団体） 協会本部に「働き方改革推進特別本部」設置（団体） 業界一斉「毎週水曜日をノー残業デー」の実施（団体） 働き方改革セミナーを開催（団体） ウィークリースタンスを含めた様々な施策の実態調査（団体） えるぼし認定、くるみん認定やダイバーシティー推進等の取組み（講習会など）（団体） |
| 16 | 札幌市設計同友会 | <ul style="list-style-type: none"> ノー残業デーの実施（会員企業） 有給休暇の取得促進（会員企業） 人材の確保・育成・定着に関する研修会の開催（団体） 札幌市へ要望書の提出（団体） | <ul style="list-style-type: none"> ノー残業デーの実施（会員企業） 有給休暇の取得促進（会員企業） 札幌市へ要望書の提出を予定（団体） |
| 17 | 札幌市測友会 | <ul style="list-style-type: none"> 継続してインターシップ制度を導入する。職員に過度の負担にならない様、繁忙時期を見極める。（会員企業） | <ul style="list-style-type: none"> 継続してインターシップ制度を導入する。職員に過度の負担にならない様、繁忙時期を見極める。（会員企業） |
| 18 | (一社)北海道設備設計事務所協会 | — | <ul style="list-style-type: none"> 正会員、賛助協賛会員による若手座談会を企画し、情報交換と交流を深めることによる就業者の定着を図る（団体・会員企業） |
| 19 | (一社)北海道建築士事務所協会 札幌支部 | — | — |

◆補足情報

<えるぼし認定>

女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づき、一定基準を満たし、女性の活躍促進に関する状況などが優良な企業を認定する制度。

<くるみん認定>

次世代育成支援対策推進法に基づき、一般事業主行動計画を策定した企業の内、計画に定めた目標を達成し、一定の基準を満たした企業は、申請を行うことによって「子育てサポート企業」として、厚生労働大臣の認定を受けることができる制度。

令和6年度の取組予定に関する各業界団体への照会（さっぽろ建設産業活性化推進協議会）

（2）人材育成の取組

| | |
|------------------|--|
| 照会内容 | 貴団体や会員企業における「人材育成」につながる取組を教えてください。 例1：人材育成に向けた研修の実施 |
| （参考） プランの記載内容 | 3-1-1 働き方改革や就業環境の整備、人材育成の推進（P79） 各企業が就職先として選ばれ、就業者の定着や能力発揮につなげるため、働き方改革や就業環境の整備、 <u>人材育成等の取組の推進を図ります。</u> |

| No. | 団体名 | 令和5年度の取組状況 | 令和6年度の取組予定 |
|-----|-----------------------|--|---|
| 1 | （一社）札幌建設業協会 | ・会員企業の新入社員合同研修会を開催（団体） | ・会員企業の新入社員合同研修会を開催（団体・継続） |
| 2 | 札幌市土木事業協会 | ・長期、短期の柔軟なインターンシップ受け入れを実施する。また、YouTubeチャンネルでの仮想就業体験を計画している。～継続（会員企業） ・土木、機械等の資格については会社負担にて講習を受けさせている。ただし、教育訓練給付金対象のみ。～継続（会員企業） | ・長期、短期の柔軟なインターンシップ受け入れを実施する。また、YouTubeチャンネルでの仮想就業体験を計画している。～継続（会員企業） ・土木、機械等の資格については会社負担にて講習を受けさせている。ただし、教育訓練給付金対象のみ。～継続（会員企業） |
| 3 | （一社）札幌中小建設業協会 | ・令和5年度事業として「現場技術者研修会」を集合研修で行うとともに、その内容を録画、ファイル化し、オンデマンド・リモート研修として、後日配信した（協会） | ・令和6年度事業として「現場技術者研修会」を集合研修で行うとともに、その内容を録画、ファイル化し、オンデマンド・リモート研修として、後日配信する予定。（協会） |
| 4 | （一社）北海道舗装事業協会 | ・若手技術者向けの研修の内容を充実（団体） | ・若手技術者向けの研修の内容を充実（団体） ・広報・採用担当者向けセミナー・ワークショップの実施（団体） |
| 5 | 札幌会 | ・研修会の開催を予定（団体） | ・研修会の開催を予定（団体） |
| 6 | 札幌市除雪事業協会 | 下記の取組を継続 ・札幌市と連携し若手オペレーターを対象とした除雪機械実技研修会の実施 | 下記の取組を継続 ・札幌市と連携し若手オペレーターを対象とした除雪機械実技研修会の実施 |
| 7 | 札幌塗装工業協同組合 | 下記の取組を継続 ・会員企業は新卒入職者（高校）並びに転職者を組合が運営する塗装技術学院（職業訓練校）に入校させ学ばせている（団体及び会員企業） ・会員企業は組合並びに各種団体が実施する各種技能講習会に参加させている（団体及び会員企業） | ・会員企業は新卒入職者（高校）並びに転職者を組合が運営する塗装技術学院（職業訓練校）に入校させ学ばせる（団体及び会員企業） ・会員企業は組合並びに各種団体が実施する各種技能講習会に参加させる（団体及び会員企業） |
| 8 | （一社）北海道造園緑化建設業協会 札幌支部 | ・4月上旬に、会員の若手・新入社員を集めて3日間にわたる研修会を開催した 【主な研修内容】 ・建設業社員としての心構え ・建設現場における基本、仕事の流れ ・若手技術者に求められる基本技術（測量） ・9月上旬に、庭園樹剪定技術講習会を開催し、剪定技術の習得と庭園管理技能の向上を図った（団体） ・自ら研修内容を企画し、視野の拡大と意識改革を図ることを目的に「自主企画国内派遣研修」の制度を運用しているが、そこに中堅職員1名が参加した（団体） ・日本造園建設業協会が主催する資格制度（街路樹剪定士、植栽基盤診断士、植生施工管理技士）を利用して、企業内の資格者増に努めた（会員企業） | ・4月上旬に、会員の若手・新入社員を集めて3日間にわたる研修会を開催予定（団体） 【主な研修内容】 ・建設業社員としての心構え ・建設現場における基本、仕事の流れ ・若手技術者に求められる基本技術（測量） ・9月上旬に、庭園樹剪定技術講習会を開催し、剪定技術の習得と庭園管理技能の向上を図る（団体） ・自ら研修内容を企画し、視野の拡大と意識改革を図ることを目的に「自主企画国内派遣研修」の制度を運用しているが、参加者を募集する（団体） ・日本造園建設業協会が主催する資格制度（街路樹剪定士、植栽基盤診断士、植生施工管理技士）を利用して、企業内の資格者増に努める（会員企業） |
| 9 | （一社）札幌電設業協会 | 会員企業による下記の取組実施 ・システム導入による、ペーパーレスや業務効率化の検討 ・若い人材を育成していくために、中堅社員へセミナー参加を積極的に行う ・新入社員と近い世代によるマンツーマン研修 ・引続きインターンシップ制度を採用していくと共に、職務内容を纏めた資料を作成予定 | 会員企業による左記の取組継続 ・若年社員に対し各種技能講習及び特別講習を積極的に企業負担で受講させる ・DX導入による省力化の推進 ・二人体制での現場管理に取組む予定 ・資格取得支援制度の励行 ・入社時の基礎研修から成長にあわせたOJTまで実施 ・資格取得奨励金制度 ・若手社員には、業務上不可欠な資格取得のための講習に参加を促し、中堅社員以上の者にはスキル向上のための |

令和6年度の取組予定に関する各業界団体への照会（さっぽろ建設産業活性化推進協議会）

| | | | |
|----|---------------------------|---|--|
| | | | 資格取得支援や社外のセミナーや勉強会への参加サポートを行う |
| 10 | (一社)札幌空調衛生 工事業協会 | <ul style="list-style-type: none"> 北海道配管設備訓練校の運営協力と助成金支給(27万円)により、配管工の養成に努めた(団体) 技術系新入社員研修会の開催を開催した(団体) 技術系ステップアップ研修会を開催した(団体) 施工管理技士の受験講習会を開催し、若手の資格取得促進に努めた(団体) | <ul style="list-style-type: none"> 北海道配管設備訓練校の運営協力と助成金支給により、配管工の養成に取り組む予定(団体) 技術系新入社員研修会の開催に取り組む予定(団体) 技術系ステップアップ研修会の開催に取り組む予定(団体) 施工管理技士の受験講習会を開催し、若手の資格取得促進に取り組む予定(団体) 登録基幹配管技能者講習を開催予定(団体) |
| 11 | 札幌市管工事業協同組合 | <ul style="list-style-type: none"> 資格取得のモチベーションアップを目的とした、管工事業界で必要となる各種資格試験（給水装置工事主任技術者試験、2級管工事施工管理技術検定試験、2級土木施工管理技術検定試験）に合格した組合員及び組合員の従業員へ資格試験受験料の助成を実施(団体) 給水装置工事主任技術者試験の勉強会、直前講習会を実施(団体) | <ul style="list-style-type: none"> 資格取得のモチベーションアップを目的とした、管工事業界で必要となる各種資格試験（給水装置工事主任技術者試験、2級管工事施工管理技術検定試験、2級土木施工管理技術検定試験）に合格した組合員及び組合員の従業員へ資格試験受験料の助成を実施(団体) 給水装置工事主任技術者試験の勉強会、直前講習会を実施(団体) 技術継承、人材育成等を目的とした「(仮称)次代へつなぐプロジェクト」の作成に向け、継続して検討を行う予定(団体) |
| 12 | 札幌管和会 | — | <ul style="list-style-type: none"> 人材育成の為に資格取得又は各特別教育などを受講させていますが、建設業は特にたくさんの資格が必要で、何でもではなく目的を絞らせて習得させる、取り組み |
| 13 | 札幌環境維持管理協会 | <ul style="list-style-type: none"> 洗浄技能士、下水道管路管理技士などの資格取得に向けて試験・講習会などへの参加(会員企業) 下水道カメラ調査用の勉強会の実施など技術的アップの取組(団体) | <ul style="list-style-type: none"> 洗浄技能士、下水道管路管理技士などの資格取得に向けて試験・講習会などへの参加(会員企業) 下水道カメラ調査用の勉強会の実施など技術的アップの取組(団体) |
| 14 | 札幌建具工業協同組合 | <ul style="list-style-type: none"> 団体では今年度はコロナ以前に実施しておりました講習会等を計画していく予定です。(検討中) | <ul style="list-style-type: none"> 組合員への建具技能士資格試験の周知。(団体) 札幌市の各種表彰へ組合員の推薦を行い、優れた人材の育成、確保を目指す。(団体) |
| 15 | (一社)建設コンサルタンツ 協会 北海道支部 | — | — |
| 16 | 札幌市設計同友会 | <ul style="list-style-type: none"> 人材の確保・育成・定着に関する研修会の開催(団体) 新入社員研修の実施(会員企業) | <ul style="list-style-type: none"> 新入社員研修の実施(会員企業) |
| 17 | 札幌市測友会 | <ul style="list-style-type: none"> 札幌商工会議所からの依頼による、任期制自衛官向け業界研修に参加し、各駐屯地(3か所)に出向いた。 令和5年7月25日に、自衛隊札幌地域援護センターから担当者(4名)を招いて、任期制自衛官の説明と求人票の書き方を学んだ。特に、求人票記載の注意事項としては、将来像が見える書き方が好印象を与えると考えた。 | <ul style="list-style-type: none"> 任期制自衛官の再就職説明会の実施(日時未定) |
| 18 | (一社)北海道設備設計 事務所協会 | <ul style="list-style-type: none"> 他協会で実施している、新入社員研修、技術系新入社員研修、ステップアップ研修への参加 建築設備士受験講習会の開催及び講師の経験 札幌市管工事業協同組合「現場代理人実践研修会」への講師派遣 北海道職業能力開発大学校への講師派遣 技術情報発表会及びパネル・商品展示会の開催 | <ul style="list-style-type: none"> (団体・会員企業) 建築設備士受験講習会の開催及び講師の経験 札幌市管工事業協同組合「現場代理人実践研修会」への講師派遣とその経験 技術情報発表会、パネル・商品展示会の開催と会員参加 施設見学会の開催と会員の参加 |
| 19 | (一社)北海道建築士事務所 協会 札幌支部 | <ul style="list-style-type: none"> 当協会では、一級建築士受験サポートとして「受験対策勉強会」を継続して実施 | <ul style="list-style-type: none"> 当協会では、一級建築士受験サポートとして「受験対策勉強会」を継続して実施予定 |

（3）インターンシップ等の実施

| | |
|----------------------|---|
| 照会内容 | 貴団体や会員企業における「学生等の入職促進」に関する取組を教えてください。 例1：インターンシップや現場見学の受入れ 例2：職業体験や出前講座の実施 |
| （参考） プランの 記載内容 | 3-1-2 学生等の入職促進等に向けたインターンシップ等の取組の推進（P80） ● 学生等の入職促進及び離職防止効果があるインターンシップの実施や、入職希望者に対する見学受入などの取組を推進します。 ● インターンシップについては、札幌市の助成制度の活用を図るほか、個々の企業での実施が難しい場合については、札幌市や札幌商工会議所が主催するインターンシップ事業や、さっぽろ季節労働者通年雇用促進支援協議会の職場体験実習等の各種事業の活用についても考慮します。 |

| No. | 団体名 | 令和5年度の取組状況 | 令和6年度の取組予定 |
|-----|-----------------------|--|---|
| 1 | （一社）札幌建設業協会 | <ul style="list-style-type: none"> 北海道札幌工業高校の土木科・建築科及び保護者を対象とした現場見学会を開催（団体） 北海道学園大、北海道科学大を対象とした現場見学会を札幌市と共催（団体） 北海道札幌工業高校のインターンシップについて会員企業との仲介を行う（団体） 建青会の「夏休み親子現場見学会」を共催（団体） 「建設産業ふれあい展」にブースを出展（団体） 札商「出張お仕事体験会」に参加（団体） | <ul style="list-style-type: none"> 北海道札幌工業高校の土木科・建築科及び保護者を対象とした現場見学会を開催（団体・企業） 北海道学園大、北海道科学大を対象とした現場見学会を札幌市と共催（団体） 北海道札幌工業高校のインターンシップについて会員企業との仲介を行う（団体・企業） 建青会の「夏休み親子現場見学会」を共催（団体） 「建設産業ふれあい展」にブースを出展設置予定（団体） 札商「出張お仕事体験会」等への協力（団体・企業） |
| 2 | 札幌市土木事業協会 | <ul style="list-style-type: none"> 若手だけで取組むイベントに助成を予定～継続（会員企業） 毎年、札幌工業高校よりインターンシップを受け入れており本年度も継続する～継続（会員企業） | <ul style="list-style-type: none"> 若手だけで取組むイベントに助成を予定～継続（会員企業） 毎年、札幌工業高校よりインターンシップを受け入れており本年度も継続する～継続（会員企業） |
| 3 | （一社）札幌中小建設業協会 | <ul style="list-style-type: none"> 入職促進（インターンシップや見学受入れ）に取組んだ（会員企業） 学生が無料で閲覧できるマイナビと契約し、自社のホームページにリンクさせ、会社の福利厚生状況、就職条件、インターンシップの内容、日時も学生に一目で分かるようにし、併せて道内、東北内の各大学の就職担当教授に社長、専務が会社案内等を持ってアピールした（会員企業） | <ul style="list-style-type: none"> 入職促進（インターンシップや見学受入れ）に取組む予定（会員企業） 学生が無料で閲覧できるマイナビと契約し、自社のホームページにリンクさせ、会社の福利厚生状況、就職条件、インターンシップの内容、日時も学生に一目で分かるようにし、併せて道内、東北内の各大学の就職担当教授に社長、専務が会社案内等を持ってアピールする予定（会員企業） |
| 4 | （一社）北海道舗装事業協会 | — | <ul style="list-style-type: none"> 建設関連産業体験プログラム「出張お仕事体験会」への出展（団体） |
| 5 | 札幌会 | — | — |
| 6 | 札幌市除雪事業協会 | — | — |
| 7 | 札幌塗装工業協同組合 | <ul style="list-style-type: none"> 下記の取組を継続 札幌商工会議所主催のインターンシップ事業等に参画（団体及び会員企業） | <ul style="list-style-type: none"> 札幌商工会議所主催のインターンシップ事業等に参画（団体及び会員企業） |
| 8 | （一社）北海道造園緑化建設業協会 札幌支部 | <ul style="list-style-type: none"> 夏場に以下の出前講座と現場見学会を実施した（団体） 7月 札幌工科専門学校での出前講座 8月 当別高校デザイン科の生徒の現場見学会 9月 北海道大学農学部での出前講座 | <ul style="list-style-type: none"> 夏場に市内の大学への出前講座と現場見学会を開催予定（団体） 7月 札幌工科専門学校及び北海道大学農学部での出前講座・現場見学会 |
| 9 | （一社）札幌電設業協会 | <ul style="list-style-type: none"> 会員企業による取組 引続きインターンシップ制度を採用 職務内容を纏めた資料を作成予定 学校への出張授業 スカウティングサービスの利用検討 学内企業説明会への参加 学校との関係強化 求人媒体の充実 求人媒体を通してのスカウト、ターゲティング、DM 送付 | <ul style="list-style-type: none"> 会員企業による下記の取組の継続 引続きインターンシップ制度を採用 職務内容を纏めた資料を作成予定 学校への出張授業 スカウティングサービスの利用検討 学内企業説明会への参加 学校との関係強化 求人媒体の充実 求人媒体を通してのスカウト、ターゲティング、DM 送付 |
| 10 | （一社）札幌空調衛生工事業協会 | <ul style="list-style-type: none"> 北海道職業能力開発大学校に設備施工管理の指導を行う講師を派遣した（団体） | <ul style="list-style-type: none"> 北海道職業能力開発大学校に設備施工管理の指導を行う講師派遣の取り組みを継続予定（団体） |

令和6年度の取組予定に関する各業界団体への照会（さっぽろ建設産業活性化推進協議会）

| | | | |
|----|-----------------------|--|---|
| | | <ul style="list-style-type: none"> 北海道高等技術専門学院設備システム科学生に対する業界説明をした（団体） ワク！WORK！学校祭へ参加、設備工事の仕事内容を紹介し空衛業界PRした（団体） 北海道科学大学建築学科学生を対象としたインターンシップを募集したが応募者はなかった（団体） 当会機関誌「KIRAMEKI」入職促進記事（学生向け就職案内、若手社員体験談）を説明会等で配布した（団体） | <ul style="list-style-type: none"> 北海道高等技術専門学院設備システム科学生に対する業界説明に取り組む予定（団体） ワク！WORK！学校祭へ参加、設備工事の仕事内容を紹介し空衛業界PRに取り組む予定（団体） 北海道科学大学建築学科学生を対象としたインターンシップに取り組む予定（団体） 当会機関誌「KIRAMEKI」入職促進記事（学生向け就職案内、若手社員体験談）を説明会等で配布（団体） |
| 11 | 札幌市管工事業協同組合 | <ul style="list-style-type: none"> 北海道札幌琴似工業高等学校 電子機械科1・2年生の「インターンシップ（配管実習及び就業体験）を実施予定。なお、就業体験については、組合員各社で学生を受け入れ予定（団体） 「ジモトのシゴト ワク！WORK！」へ札幌商工会議所、（一社）札幌空調衛生工事業協会及び関係団体と合同で参加。ステンレス配管の組立作業を通じて、建築設備業の楽しさ、やりがいを体験してもらう予定（団体） 札幌商工会議所からの依頼で「出張お仕事体験会」へ（一社）札幌空調衛生工事業協会と合同で参加。ステンレス配管の組立作業を通じて、建築設備業の仕事に触れる機会を提供する予定（団体） | <ul style="list-style-type: none"> 北海道札幌琴似工業高等学校 電子機械科1・2年生のインターンシップ（事前講義、札幌市水道局「藻岩浄水場」施設見学、配管実習及び就業体験）を実施予定。なお、就業体験については、組合員各社で学生を受け入れ（団体） 札幌商工会議所からの依頼で「ジモトのシゴト ワク！WORK！」へ札幌商工会議所、（一社）札幌空調衛生工事業協会及び関係団体と合同で出展。ステンレス配管の組立作業を通じて、建築設備業の楽しさ、やりがいを体験してもらう予定（団体） 札幌商工会議所からの依頼で「出張お仕事体験会」へ（一社）札幌空調衛生工事業協会と合同で出展。ステンレス配管の組立作業を通じて、建築設備業の仕事に触れる機会を提供する予定（団体） 札幌市都市局からの依頼で、札幌市主催「夏休み親子 土木施設見学ツアー」において、都市局が実施した体験学習（パイプをつなげてみよう！）へ（一社）札幌空調衛生工事業協会と合同で参加。配管接続体験及びダンボールダクト組立接続体験の実施協力を行った（団体） ミニさっぽろ2024実行委員会（構成団体：札幌市等）主催「こどものまち『ミニさっぽろ2024』」へ出展。札幌市内及び近郊の小学3・4年生に水道の蛇口修理（パッキン交換）を通じて、管工事業で働くことの楽しさや大変さを体験してもらう予定（団体） |
| 12 | 札幌管和会 | <ul style="list-style-type: none"> 他団体のインターンシップや職業体験の活動に協力予定 | <ul style="list-style-type: none"> 育成の為の時間、費用の捻出を考えたい |
| 13 | 札幌環境維持管理協会 | <ul style="list-style-type: none"> 工業系高校との連携、インターンシップの継続など引き続き若手人材の確保をめざす（会員企業） | <ul style="list-style-type: none"> 工業系高校との連携、インターンシップの継続など引き続き若手人材の確保をめざす（会員企業） |
| 14 | 札幌建具工業協同組合 | — | — |
| 15 | （一社）建設コンサルタンツ協会 北海道支部 | <p>下記の取組を継続</p> <ul style="list-style-type: none"> 北海道大学の就職担当教授の協力を得て、平成27年度より毎年12月上旬（年1回）、講義の中で、建設コンサルタント業に関する講義を実施している 講義内容は、建コン全般と各分野（道路、構造、河川、防災、情報等）の説明。講師は支部の関連委員や支部会員会社職員が行っている（団体） | <p>下記の取組を継続</p> <ul style="list-style-type: none"> 北海道大学の就職担当教授の協力を得て、平成27年度より毎年12月上旬（年1回）、講義の中で、建設コンサルタント業に関する講義を実施している 講義内容は、建コン全般と各分野（道路、構造、河川、防災、情報等）の説明。講師は支部の関連委員や支部会員会社職員が行っている（団体） |
| 16 | 札幌市設計同友会 | <ul style="list-style-type: none"> インターンシップの受け入れ（会員企業） 求人媒体との連携（会員企業） 企業説明会への参加（会員企業） | <ul style="list-style-type: none"> インターンシップの受け入れ（会員企業） 求人媒体との連携（会員企業） 企業説明会への参加（会員企業） |
| 17 | 札幌市測友会 | <ul style="list-style-type: none"> 札幌商工会議所からの依頼による「ジモトのシゴト ワク！WORK！」の参加9月中旬開催。 札幌管内の高校生に向けた体験として測量機械の操作を行う。 北海道、札幌市主催の「建設ふれあい展」に参加 R6.1月上旬 チカホで「ドローンの疑似操作」を体験。 | <ul style="list-style-type: none"> 「ジモトのシゴト ワク！WORK！」参加予定 R6.9月頃（詳細は未定） 「建設産業ふれあい展」参加予定 R7.1月上旬 チカホ 継続してインターンシップ制度を導入する。職員に過度の負担にならない様、繁忙時期を見極める。（会員企業） |
| 18 | （一社）北海道設備設計事務所協会 | <ul style="list-style-type: none"> 設備設計とは何かということを工業系高校、北海道立札幌高等技術専門学院、北海道職業能力開発大学校に訪問し、PRして認知度を高めていく 積極的にインターンシップを受け入れる | <ul style="list-style-type: none"> 外部教育機関との連携による設備設計の重要性、認知度を高めていく（団体） インターンシップの紹介とその受け入れ（団体・会員企業） |

令和6年度の取組予定に関する各業界団体への照会（さっぽろ建設産業活性化推進協議会）

| | | | |
|----|--------------------------|----------------------------|----------------------------------|
| 19 | (一社)北海道建築士事務所 協会 札幌支部 | ・当協会では、インターンシップ受け入れは継続して実施 | ・当協会では、インターンシップ受け入れは継続して実施 予定 |
|----|--------------------------|----------------------------|----------------------------------|

【報告5】若者・女性の横のつながり創出

| | |
|---------------|--|
| 照会内容 | 貴団体や会員企業における「若手技術者や女性の横のつながりの創出」に向けた取組を教えてください。 例1：合同研修会の実施 例2：レクリエーション事業 例3：活動に対する費用助成や勤務時間調整等の支援 |
| (参考) プランの記載内容 | 3-5-1 若者・女性の活動との連携や横のつながりを創出する機会確保等の支援 (P87) ● 若者や女性の育成に向け、企業の枠を超えた横のつながりの機会を確保するため、若者・女性の活動等との連携推進を図るとともに、建設産業の市内企業に入職した若手就業者を対象とした合同職員研修の開催等の支援策を検討します。 ● 女性の活動団体との連携強化や支援の取組を検討します。【施策 1-2-2】 |

| No. | 団体名 | 令和5年度の取組状況 | 令和6年度の取組予定 |
|-----|-----------------------|---|--|
| 1 | (一社)札幌建設業協会 | ・会員企業の新入社員合同研修会を開催(団体) | ・会員企業の新入社員合同研修会を開催(団体) |
| 2 | 札幌市土木事業協会 | ・外部教育機関を活用して新人教育や交流を促す～継続(会員企業) | ・外部教育機関を活用して新人教育や交流を促す～継続(会員企業) |
| 3 | (一社)札幌中小建設業協会 | — | — |
| 4 | (一社)北海道舗装事業協会 | ・若手技術者向けの研修の内容を充実(団体) | ・若手技術者向けの研修の内容を充実(団体) |
| 5 | 札幌会 | — | — |
| 6 | 札幌市除雪事業協会 | — | — |
| 7 | 札幌塗装工業協同組合 | ・組合青年部会では、会員交流会・家族交流会、技術講習会、経営講習会及びボランティア事業等活発な活動を通じて、若手技能者や若手経営者の技術の向上並びに知識のスキルアップとともに横の連携を図っている | ・組合青年部会を組織しており、ここで会員交流会・家族交流会、技術講習会、経営講習会及びボランティア事業等活発な活動を通じて、若手技能者や若手経営者の技術の向上並びに知識のスキルアップとともに横の連携を図る |
| 8 | (一社)北海道造園緑化建設業協会 札幌支部 | ・日本造園建設業協会主催の「地域リーダーズ活動」として、全国の造園建設業界を対象にした勉強会、現地見学会、事業活動発表会などが行われており、R5は2月に沖縄で開催され、当協会からも若手を中心に10名余りが参加し、各地の様々な情報を共有しビジネスチャンスの創出に向けて取組んだ(団体) | ・引き続き日本造園建設業協会主催の「地域リーダーズ活動」と連携して、全国の造園建設業界を対象にした勉強会、現地見学会、事業活動発表会などに参加し、各地の様々な情報を共有しビジネスチャンスの創出に向けて取組んでいく(団体) |
| 9 | (一社)札幌電設業協会 | 会員企業による取組 ・少人数での現場単位でのレクリエーションを予定 ・女性スキルアップセミナーや女性管理職向けの社外研修への参加を予定 | 会員企業による左記の取組の継続 ・定期的に女性社員とコミュニケーションを取り精神状況の確認を行 |
| 10 | (一社)札幌空調衛生工事業協会 | ・コロナ禍で実施を見送っていた会員親睦ボーリング大会を開催した(団体) | ・会員親睦ボーリング大会の開催に取り組む予定(団体) |
| 11 | 札幌市管工事業協同組合 | — | ・組合青年部で、技術講習会やボランティア活動、異業種交流会等を通じて、若手技術者の技術・技能の向上及び横のつながりを図っている(団体) |
| 12 | 札幌管和会 | — | ・会の研修会、レクリエーション、懇親会 |
| 13 | 札幌環境維持管理協会 | — | — |
| 14 | 札幌建具工業協同組合 | ・技能士資格取得者の全体数の底上げの為、技能士の国家試験(特に実技試験)の受験対策として、実際の試験問題の課題と同じ条件での講習会を引き続き実施する予定ではありますが、新型コロナの感染状況では内容が変更し、対策が必要となるので時期と規模に関しては未定(検討中) ・札幌技能士会を中心に札幌技能フェスティバルへ参加し、子供・若年層を対象としたものづくり体験コーナーを開設し、会場で実際の木工に触れてもらう機会を提供し、木工への興味を持ってもらうきっかけづくりの取組を継続して行う(団体) | ・年2回親睦会(ビール会・懇話会)を開催し、組合会員同士の交流会の場を設ける。(団体) ・全国建具組合連合会の開催する、全国建具フェアへの参加協賛。(団体) ・札幌技能士会を中心に札幌技能フェスティバルへ参加し、子供・若年層を対象としたものづくり体験コーナーを開設し、会場で実際の木工に触れてもらう機会を提供し、木工への興味を持ってもらうきっかけづくりの取組を継続して行う(団体) |
| 15 | (一社)建設コンサルタンツ協会 北海道支部 | 下記の取組を継続 ・「北海道支部若手の会」の活動を継続(団体) | 下記の取組を継続 ・「北海道支部若手の会」の活動を継続(団体) |

令和6年度の取組予定に関する各業界団体への照会（さっぽろ建設産業活性化推進協議会）

| | | | |
|----|----------------------|--|--|
| 16 | 札幌市設計同友会 | — | — |
| 17 | 札幌市測友会 | ・納涼ビール会（7月実施済36社237名参加）を開催し、職員同士の交流の場とした。 | ・納涼ビール会開催予定（7月） |
| 18 | (一社)北海道設備設計事務所協会 | <ul style="list-style-type: none"> ・他協会主催女子会見学会・講演会・セミナー及び交流会への参加 ・当協会主催の見学会への参加 ・会員情報交換会への参加 ・技術情報発表会・パネル展示会・実務担当者懇親会への参加 ・ボーリング大会への参加 | <ul style="list-style-type: none"> ・当協会主催の会員懇親会、技術講習会、施設見学会等、若手、女性が参加しやすい行事の開催（団体） ・上記行事への積極的な参加（会員企業） |
| 19 | (一社)北海道建築士事務所協会 札幌支部 | — | — |

【報告6】下請契約の適正化及び技能労働者の処遇改善に向けた取組の実施

(1) 下請契約等

| | |
|---------------|--|
| 照会内容 | 貴団体や会員企業における「下請契約や下請代金支払いの適正化」に関する取組を教えてください。 例1：会員企業への通知文の周知、 例2：講習会の開催 例3：建設業フォローアップ相談ダイヤルの周知 |
| (参考) プランの記載内容 | 5-4-1 下請契約の適正化及び技能労働者の処遇改善に向けた取組の実施 (P93) (1) 下請契約や下請代金支払の適正化の取組 ・工事の受注者は、品確法や国交省の通知等に基づき、下請契約の締結および適切な代金の支払いなど元請負人と下請負人の間の取引の適正化等に努めます。 |

| No. | 団体名 | 令和5年度の取組状況 | 令和6年度の取組予定 |
|-----|-----------------------|--|---|
| 1 | (一社)札幌建設業協会 | ・会員企業への通知(団体) ・国、北海道、札幌市との意見交換会において、労務単価など諸課題の解決に向けた協議を行った(団体) | ・会員企業への通知(団体) ・国、北海道、札幌市との意見交換会において、労務単価など諸課題の解決に向けた協議を予定(団体) |
| 2 | 札幌市土木事業協会 | ・外部コンサルティングの情報を活用して、処遇の改善を行う予定～継続(会員企業) ・建設キャリアアップシステムの加入と協力業者へ加入を促進する。～継続(会員企業) | ・外部コンサルティングの情報を活用して、処遇の改善を行う予定～継続(会員企業) ・建設キャリアアップシステムの加入と協力業者へ加入を促進する。～継続(会員企業) |
| 3 | (一社)札幌中小建設業協会 | — | — |
| 4 | (一社)北海道舗装事業協会 | — | — |
| 5 | 札幌舗会 | — | ・会員企業へ通知文の周知 |
| 6 | 札幌市除雪事業協会 | 下記の取組を継続 ・通知文の周知 ・代表者懇談会、道路維持担当者会議、除雪センター長会議を開催し、周知 ・会報により会員に周知 | 下記の取組を継続 ・通知文の周知 ・代表者懇談会、道路維持担当者会議、除雪センター長会議を開催し、周知 ・会報により会員に周知 |
| 7 | 札幌塗装工業協同組合 | — | ・会員企業への通知 |
| 8 | (一社)北海道造園緑化建設業協会 札幌支部 | ・会員企業への通知文の周知(団体) | ・会員企業への通知文の周知(団体) |
| 9 | (一社)札幌電設業協会 | 会員企業による取組 ・より細かく理解していくために、説明会の開催も検討 ・情報共有及び意見交換の頻度向上を目的に主要協力会社(下請会社)との協力を設立 ・e-learningによる社内教育実施(年1回) ・下請事業者に対してヒアリング実施(不定期) ・多種価格上昇に係る適正価格転嫁への協議実施(契約業者と都度) ・国土交通省北海道開発局作成の資料「建設業者のための建設業法」(元請下請関係の適正化のための22の鉄則)に基づき資料を作成し社員への情報共有を図るとともに、年度初めに教養を実施 ・見積作成の仕方の講習・現場原価の作成方法等の講習会の実施 | 会員企業による左記の取組の継続 ・インボイス制度の説明等(会員企業) ・多種価格上昇に係る適正価格転嫁、下請事業者等に対する契約金の適正化を実施 ・適正な工期設定や適切な賃金水準の確保 |
| 10 | (一社)札幌空調衛生工事業協会 | ・北海道、札幌市からの関連通知等を迅速に会員企業にメール配信し、周知を図った(団体) | ・北海道、札幌市からの関連通知等を迅速に会員企業にメール配信し、周知を図る予定(団体) |
| 11 | 札幌市管工事業協同組合 | ・組合員へ通知文を周知(団体) | ・関係機関からの通知文を組合員へ周知(団体) |
| 12 | 札幌管和会 | — | ・会としてはまだ取組んでいませんので各会員で取組みます |
| 13 | 札幌環境維持管理協会 | — | — |
| 14 | 札幌建具工業協同組合 | ・下請け契約に関して、契約書を発行時し、必要事項を明記し、適正な取引に努めております(団体) | ・下請け契約に関して、契約書を発行時し、必要事項を明記し、適正な取引に努めております(団体) |
| 15 | (一社)建設コンサルタンツ協会 北海道支部 | 下記の取組を継続 | 下記の取組を継続 |

令和6年度取組予定に関する各業界団体への照会（さっぽろ建設産業活性化推進協議会）

| | | | |
|----|----------------------|---|--|
| | | ・支部会員のコンプライアンス遵守を目的として、倫理および法令遵守に関わるテーマを取り上げ、毎年1回研修会を開催（団体） | ・支部会員のコンプライアンス遵守を目的として、倫理および法令遵守に関わるテーマを取り上げ、毎年1回研修会を開催（団体） |
| 16 | 札幌市設計同友会 | － | － |
| 17 | 札幌市測友会 | － | － |
| 18 | (一社)北海道設備設計事務所協会 | ・下請契約や下請代金は適正に対処しているが、設備改修設計に含まれる建築設計の金額が合わない場合があり、改善を発注者に要望したい | ・設備改修に伴う建築設計及びアスベスト調査が委託に含まれている場合、外注費の割合が大きく改善を発注者に要望したい（団体） |
| 19 | (一社)北海道建築士事務所協会 札幌支部 | － | － |

令和6年度の取組予定に関する各業界団体への照会（さっぽろ建設産業活性化推進協議会）

(2) 技能労働者の処遇改善

| | |
|---------------|--|
| 照会内容 | 貴団体や会員企業における「建設キャリアアップシステム」の現時点での活用状況や今後予定している活用に向けた取組を教えてください。 |
| (参考) プランの記載内容 | 5-4-1 下請契約の適正化及び技能労働者の処遇改善に向けた取組の実施 (P93) (2) 技能労働者の処遇改善の取組 ・工事の受注者は、品確法や国交省の通知等に基づき、技能労働者の適切な賃金水準の確保を促し、技能労働者の処遇改善を図ることに努めます。 ・技能労働者の処遇改善とキャリアの見える化を推進するため、建設キャリアアップシステムを活用し、処遇改善や適正な労働時間の管理に努めます。 |

| No. | 団体名 | 令和5年度の取組状況 | 令和6年度の取組予定 |
|-----|-----------------------|--|--|
| 1 | (一社)札幌建設業協会 | <ul style="list-style-type: none"> 国や北海道との意見交換会において、建設キャリアアップシステムの普及促進に向けた協議を行った(団体) 公共工事労務費調査に係る説明会への参画や個別相談会の開催を行った(団体) | <ul style="list-style-type: none"> 国や北海道との意見交換会において、建設キャリアアップシステムの普及促進に向けた協議を予定(団体) 公共工事労務費調査に係る説明会への参画や個別相談会の開催を予定(団体) |
| 2 | 札幌市土木事業協会 | <ul style="list-style-type: none"> 建設キャリアアップシステム活用による就業管理を行う予定～継続(会員企業) 建設キャリアアップシステムを導入しているが、協力業者への普及が浸透していないので推進していく～継続(会員企業) 下請け代金は全て毎月出来高現金支払いを原則として契約している～継続(会員企業) | <ul style="list-style-type: none"> 建設キャリアアップシステム活用による就業管理を行う予定～継続(会員企業) 建設キャリアアップシステムを導入しているが、協力業者への普及が浸透していないので推進していく～継続(会員企業) 下請け代金は全て毎月出来高現金支払いを原則として契約している～継続(会員企業) |
| 3 | (一社)札幌中小建設業協会 | — | — |
| 4 | (一社)北海道舗装事業協会 | <ul style="list-style-type: none"> CCUSに関する説明会などの情報を会員企業に提供(団体) CCUSの舗装工に関する基準策定等について関係機関に要望(団体) | <ul style="list-style-type: none"> CCUSに関する情報提供(団体) CCUSの舗装工に関する基準策定等について関係機関に要望(団体) |
| 5 | 札幌会 | — | — |
| 6 | 札幌市除雪事業協会 | — | — |
| 7 | 札幌塗装工業協同組合 | <ul style="list-style-type: none"> 新規学卒者(高校)の集団求人推進(団体) *集団求人:組合加入の会員が組合と勤務条件、労働環境、福利厚生、訓練校入学等について協定し、その条件を会員が遵守するとともに、組合はハローワークに対し会員が提出した求人票の諸条件についてその保証を確約する求人方式 企業ID及び個人IDの取得について推進(団体及び会員企業) | <ul style="list-style-type: none"> 新規学卒者(高校)の集団求人推進(団体) *集団求人:組合加入の会員が組合と勤務条件、労働環境、福利厚生、訓練校入学等について協定し、その条件を会員が遵守するとともに、組合はハローワークに対し会員が提出した求人票の諸条件についてその保証を確約する求人方式 企業ID及び個人IDの取得について推進(団体及び会員企業) |
| 8 | (一社)北海道造園緑化建設業協会 札幌支部 | <ul style="list-style-type: none"> 会員企業への通知文の周知(団体) | <ul style="list-style-type: none"> 会員企業への通知文の周知(団体) |
| 9 | (一社)札幌電設業協会 | <p>会員企業による取組</p> <ul style="list-style-type: none"> キャリアアップシステムを導入している企業、導入を検討している企業がいる 会社全体での資格の取得を奨励して建設キャリアアップのレベルアップをして行く取り組みを予定 「建設キャリアアップシステム」活用の予定はない | <ul style="list-style-type: none"> CCUSは事業所・技能者共に登録済 キャリアアップシステム登録済 キャリアアップシステムも併用し、資格取得奨励実施 資格取得補助実施 会社全体での資格の取得を奨励して建設キャリアアップのレベルアップをして行く取り組みを予定 元請現場において「建設キャリアアップシステム」を導入し、技能者の現場入退室管理を通じてスキルの積み上げを実施済み 下請現場については元請の要請に基づき、実施 |
| 10 | (一社)札幌空調衛生工事業協会 | <ul style="list-style-type: none"> 建設キャリアアップシステムに関して会員企業のID取得状況の把握に努めた(団体) | <ul style="list-style-type: none"> 建設キャリアアップシステムに関して会員企業のID取得状況の把握に取り組む予定(団体) |
| 11 | 札幌市管工事業協同組合 | <ul style="list-style-type: none"> 組合員へ通知文を周知(団体) | <ul style="list-style-type: none"> 関係機関からの通知文を組合員へ周知(団体) |
| 12 | 札幌管和会 | — | <ul style="list-style-type: none"> メリットが分からないので、中ブラリンの状態です |
| 13 | 札幌環境維持管理協会 | — | — |
| 14 | 札幌建具工業協同組合 | <ul style="list-style-type: none"> 現在の状況では費用対効果の面でメリットが少なく、報酬に反映されることがほとんど無い為か、なかなか登録企業や、個人に関する登録も進んでいない状況です(会 | <ul style="list-style-type: none"> 現在の状況では費用対効果の面でメリットが少なく、報酬に反映されることがほとんど無い為か、なかなか登録企業や、個人に関する登録も進んでいない状況です(会 |

令和6年度の取組予定に関する各業界団体への照会（さっぽろ建設産業活性化推進協議会）

| | | 員企業) | 員企業) |
|----|-----------------------|------|---|
| 15 | (一社)建設コンサルタンツ協会 北海道支部 | — | — |
| 16 | 札幌市設計同友会 | — | — |
| 17 | 札幌市測友会 | — | — |
| 18 | (一社)北海道設備設計事務所協会 | — | ・若手技術者の早期活躍として、主任技術者資格要件（その他実務経験10年）を札幌市独自の緩和をご検討いただきたい（団体） |
| 19 | (一社)北海道建築士事務所協会 札幌支部 | — | — |

P1

さっぽろ建設産業活性化プラン2025案の概要

資料4-1

1. はじめに

(1) プランの目的、位置づけ

安全・安心な市民生活を支える地域の守り手として、非常に重要な役割を担う建設産業では、就業者の高齢化や入職希望者の減少などにより就業者の減少が深刻化しており、建設産業の将来にわたる体制維持が喫緊の課題となっています。これまで、札幌市では2015年度に創設した「建設業人材確保・育成支援事業」や2020年5月に策定した「さっぽろ建設産業活性化プラン（以下「前プラン」という）」（計画期間2020～2024年度）に基づき、建設産業の魅力発信や働き方改革、生産性向上等の取組を実施してきましたが、建設産業を取り巻く環境は厳しい状況が続いていることから、今後も建設産業の体制維持に向けた取組を継続・加速していく必要があります。以上のことから、2期目の計画として「さっぽろ建設産業活性化プラン2025」を策定します。



前プラン

前プラン

(2) 次期プランの計画期間

次期プランの計画期間は、2025年度から2029年度までの5年間とします。

(3) 次期プランとSDGsの関係性

本プランによる建設産業の活性化をSDGsの推進・達成につなげていくこととします。

2. 前プランの推進状況

(1) 主な取組実績及び施策効果

前プランの取組は、概ね全ての項目を着手・実施しましたが、効果があまり得られていない施策がある状況です。

| 取組目標 | 主な取組実績 | | 主な施策効果 | |
|----------------------------------|---|----|--|----|
| | 内容 | 評価 | 内容 | 評価 |
| 取組目標1：建設産業の魅力向上や市民理解の醸成 | 現場見学会や各種イベントほか、PRパンフレット作成・配布やホームページによる情報発信等を実施 | ○ | 建設産業のイメージは、PR事業の参加者からは好印象を得たが、市民アンケートでは良くない印象が多い状況 | △ |
| 取組目標2：建設産業の働き方改革の推進 | 市工事における週休2日試行を拡大し、R5時点でお約84%適用の状況 | ○ | 週休2日試行工事における4週8休の達成率は、96.7%と高い状況 | ○ |
| | 工事における早期発注や余裕期間制度の適用を拡大したほか、業務における年度を跨いだ履行期限の設定等を実施 | ○ | 工事は施工時期の平準化率※が0.90と良い状況であるが、業務は第4四半期納期率が0.70と改善が必要な状況 | △ |
| 取組目標3：担い手確保に向けた取組の推進 | 各団体・企業において、就業環境改善や育成環境整備のほか、インターンシップ受入等を実施 | ○ | 企業アンケートでは、人材募集に対して「必要人数を確保できている」と回答した企業が1割程度と低い状況 | △ |
| | 女性の労働環境整備を行う企業への助成のほか、工事現場における快適トイレ設置等を実施 | ○ | 女性技術者を採用する企業の割合は増えてきたが、女性就業者全体の人数は少ない状況 | △ |
| 取組目標4：人材確保、品質確保や地域貢献などに取り組む企業の支援 | 工事・業務の発注における総合評価落札方式など、技術力等を考慮した発注方式の活用を実施 | ○ | 総合評価落札方式の適用割合は、札幌市まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン2019の目標20%に対して22%の状況 | ○ |
| 取組目標5：企業の経営基盤の強化と適正な利潤の確保 | 「札幌市まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン」に基づく建設事業費を確保 | ○ | 一般会計の建設事業費は、2019～2022年度まで毎年1,000億円以上確保 ※AP2023では、年平均1,600億円計上 | ○ |
| 取組目標6：生産性向上につながるICTの推進 | ICT試行工事の対象工種拡大やICT導入に関する助成制度を開始したほか、ICTに関する研修等を実施 | ○ | ICT施工を経験した企業は2割にとどまっており、特に中小企業の経験が少ない状況 | △ |

※平準化率は、(4～6月の月毎の稼働件数の合計÷3か月)/(1年の月毎の稼働件数の合計÷12か月)

上記のほか「取組目標7：建設産業の発展に向けた横断的な取組の実施」及び「取組目標8：将来に向けた広い観点での中長期的課題の検討」については、国や北海道等の関係機関との連携など、可能な取組を実施しました。

(2) 前プラン計画期間における評価指標

支援制度の年間利用件数は、目標値200件に対して最大で109件に留まっており、企業ニーズに応じた見直し等が必要です。

| 評価指標 | 現状 | 目標 | 実績 | | | | 評価 |
|-------------|----------------|-----------------|------|------|------|------|----|
| | | | 2020 | 2021 | 2022 | 2023 | |
| 支援制度の年間利用件数 | 73件 (2018年) | 200件 (2024年) | 72 | 91 | 109 | 88 | △ |

(3) 長期的評価指標

建設就業者数の全就業者数に対する割合は、目標値8.0%に対して2020年に7.5%（0.5%減）となっています。

他産業においても人材不足が深刻化していることから、担い手の減少への備えとして、生産性向上の重要性が高まっており、ICTの活用やデジタル化など工事における作業の省力化・効率化を加速することが必要です。

| 長期的評価指標 | 現状値 (2015年) | 目標値 (2020～2040年) | 実施結果 (2020年) | 評価 |
|------------------------|----------------|---------------------|-----------------|-----|
| | | | | |
| 建設就業者数の全就業者数 に対する割合 | ①全年齢 | 8.0% | 8.0% | (△) |
| | ②29歳以下の区分 | 4.1% | 8.0% | |

※本指標は、国勢調査の結果に基づき結果を算出しており、最新データが2020年調査となっているため、評価は行わず参考値として記載。

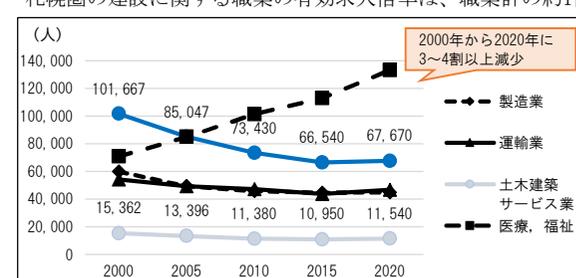
3. 建設産業を取り巻く現状

(1) 市内企業の建設就業者数（左下図）

札幌市の建設業就業者数は、建設業では2000年の101,667人から2020年には67,670人まで33,997人（33.4%）減少しており、土木建築サービス業では、2000年の15,362人から2020年には11,540人まで3,822人（24.9%）減少しています。

(2) 著しく高い有効求人倍率（右下図）

札幌圏の建設に関する職業の有効求人倍率は、職業計の約1倍と比べて約4倍と高い状況で推移しています。



2000年から2020年に3～4割以上減少

| 業種 | 2000年 | 2005年 | 2010年 | 2015年 | 2020年 |
|-----------|---------|--------|--------|--------|--------|
| 製造業 | 101,667 | 85,047 | 73,430 | 66,540 | 67,670 |
| 運輸業 | 15,362 | 13,396 | 11,380 | 10,950 | 11,540 |
| 土木建築サービス業 | 15,362 | 13,396 | 11,380 | 10,950 | 11,540 |
| 医療、福祉 | 15,362 | 13,396 | 11,380 | 10,950 | 11,540 |



建設に関する職業は、約4倍と高い状況

| 年 | 有効求人倍率（全職業） | 有効求人倍率（建設・探掘の職業※） |
|------|-------------|-------------------|
| 2013 | 0.69 | 2.64 |
| 2014 | 0.82 | 2.98 |
| 2015 | 0.94 | 2.97 |
| 2016 | 0.98 | 3.29 |
| 2017 | 1.05 | 3.90 |
| 2018 | 1.08 | 3.75 |
| 2019 | 1.12 | 3.65 |
| 2020 | 0.85 | 3.71 |
| 2021 | 0.86 | 3.65 |
| 2022 | 0.95 | 4.06 |
| 2023 | 0.90 | 4.02 |

(3) 市内建設企業のアンケート結果（2022年度実施）

①「人材確保」や「離職防止」のために必要と考える取組

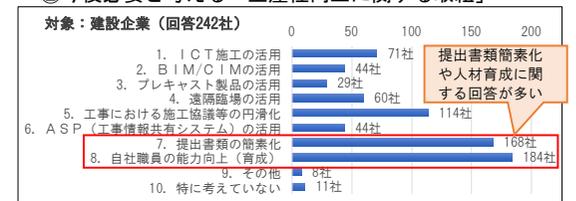


対象：建設企業（回答242社）

| 取組 | 割合 |
|---------------------------|--------|
| 1. 資金、賞与のアップ | 73.90% |
| 2. 休日の確保（週休2日） | 72.70% |
| 3. 時間外労働の短縮 | 63.60% |
| 4. 育成制度の充実 | 44.20% |
| 5. 同年代や同性職員の確保や会社を越え... | 16.10% |
| 6. 入職前に行う業務の紹介 | 14.80% |
| 7. 建設キャリアアップシステム（CCUS）... | 19.40% |
| 8. その他（具体内容を入力してください） | 2.40% |

労働環境の改善に関する回答が多い

②今後必要と考える「生産性向上に関する取組」



対象：建設企業（回答242社）

| 取組 | 社数 |
|---------------------|------|
| 1. ICT施工の活用 | 71社 |
| 2. BIM/CIMの活用 | 44社 |
| 3. プレキャスト製品の活用 | 29社 |
| 4. 遠隔現場の活用 | 60社 |
| 5. 工事における施工監理等の内視化 | 114社 |
| 6. ASP（工事情報システム）の活用 | 44社 |
| 7. 提出書類の簡素化 | 168社 |
| 8. 自社職員の能力向上（その他） | 184社 |
| 9. その他 | 8社 |
| 10. 特に考えていない | 11社 |

提出書類簡素化や人材育成に関する回答が多い

4. 前プラン策定後の社会環境の変化

(1) 人口及び生産年齢人口の減少

札幌市の人口は2025年から2060年には38万人減少（19.3%減）と推計されています。また、生産年齢人口は、38万人減少（31.9%減）と推計されています。

(2) 工業系学生数の減少

「市内工業高校の生徒数」は、2009年（2.2千人）から2023年（1.8千人）までに約18%減少しており、中学生や小学生のときよりも早い速度で減少しています。

(3) 急激な物価高騰

「道内の軽油価格」は、2020年5月と比べ、ピーク時の2023年7月には1.59倍の166.0円/リットルまで上昇、「公共工事の主な資材価格」は、2021年4月から2023年10月までに、生コンは約1.5倍、アスファルトは約1.2倍となっています。

(4) 時間外労働の上限規制

建設事業に対する時間外労働の上限規制の適用は、2024年4月1日から全面適用されています。このため、建設関連企業を含めた建設産業全体において、新基準の順守が必要な状況となっています。

(5) 気候変動への対応

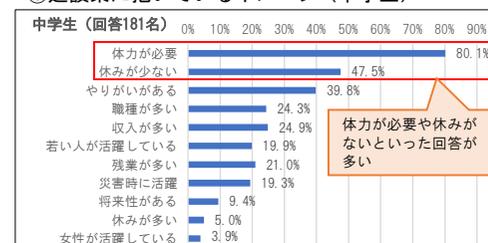
政府の2050カーボンニュートラル宣言やゼロカーボン北海道、札幌市ゼロカーボンシティ宣言の実現に向け、建設産業においても対応が求められています。

(6) デジタル技術の進展・普及

デジタル分野は、前プラン以降も技術の進展が目覚ましく、SNS利用の普及やAI技術の実用化など、生活様式や産業分野の生産性向上などの様々な活用が進んでいます。

(4) 市民及び学生アンケート結果（2023年度実施）

①建設業に抱いているイメージ（中学生）



中学生（回答181名）

| イメージ | 割合 |
|------------|-------|
| 体力が必要 | 80.1% |
| 休みが少ない | 47.5% |
| やりがいがある | 39.8% |
| 職種が多い | 24.3% |
| 収入が多い | 24.9% |
| 若い人が活躍している | 19.9% |
| 残業が多い | 21.0% |
| 災害時に活躍 | 19.3% |
| 将来性がある | 9.4% |
| 休みが多い | 5.0% |
| 女性が活躍している | 3.9% |

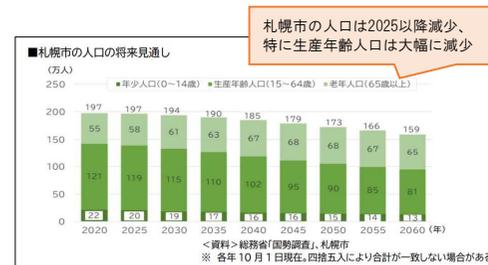
体力が必要や休みが少ないといった回答が多い

②「建設の仕事」を知るためにやってみよう



| 活動 | 割合 |
|-----------------|-------|
| 簡単な作業をしてみたい | 84.7% |
| 機械に乗ってみたい | 75.0% |
| 工事をしている場所を見学したい | 60.6% |
| 動画を見て知りたい | 44.7% |
| マンガを読み知りたい | 39.4% |

体験を希望する学生が多い



札幌市の人口の将来見通し

| 年 | 年少人口(0～14歳) | 生産年齢人口(15～64歳) | 老年人口(65歳以上) |
|------|-------------|----------------|-------------|
| 2020 | 197 | 55 | 121 |
| 2025 | 197 | 58 | 119 |
| 2030 | 194 | 61 | 115 |
| 2035 | 190 | 63 | 110 |
| 2040 | 185 | 67 | 102 |
| 2045 | 179 | 68 | 95 |
| 2050 | 173 | 68 | 90 |
| 2055 | 166 | 67 | 85 |
| 2060 | 159 | 65 | 81 |

札幌市の人口は2025以降減少、特に生産年齢人口は大幅に減少

5. 建設産業が抱える課題と今後の方向性

(1) 基本理念、基本方針

建設産業の体制維持に向け、関係者が連携して取り組むため、前プランの考え方を踏襲し、基本理念・基本方針を定めます。

<基本理念>

市民の安全・安心な生活の守り手である建設産業は、将来にわたって市民生活になくはない産業であることから、その重要性和魅力について市民の理解と信頼を得ながら、他の産業と同等以上に選ばれ、持続的に発展する産業へのステップアップを目指します。

<基本方針>

建設業界と札幌市が両輪となり、働き方改革や誰にとっても働きやすい環境整備を進めるとともに、生産性向上等の取組をより一層推進することで、建設産業の持続可能な体制の確保と産業活性化の実現につなげていきます。

(2) プランの評価指標

長期的な評価指標は前プランと同様とし、本プラン期間中に達成を目指す短期的な評価指標を新たに設定します。

<プラン評価指標（長期）>

| 内容 | | 現状値 (2020年) | 目標値 (~2040年) |
|----------------------------|---------------|----------------|-----------------|
| 全就業者数に 対する建設就 業者数の割合 | ①全年齢 | 8.1% | 8.0% |
| | ②29歳以下 の区分 | 4.9% | 8.0% |

<プラン評価指標（短期）>

| 内容 | 目標値 | |
|------------------------|---------|----|
| 建設産業に対して魅 力を感じる人の割合 | 2022年度 | 3割 |
| | 2027年度※ | 5割 |

※目標値は、札幌市まちづくり戦略ビジョンアクションプラン2023に合わせ2027年度に設定し、以降は状況に応じて再検討します。

(3) 目指す将来像と今後の方向性

本プランでは、建設産業が目指す将来像を設定した上で、将来像に向けた課題を整理し、その課題の解決に向けて、将来像ごとの「方向性」や本プラン期間中に取り組む「施策」を設定します。

| | 目指す将来像 ※前基本目標 | 課題 | 今後の方向性 ※前取組目標 |
|---------|---|--|--|
| 担い手の確保 | これまで活躍してきた従事者に加え、女性や若者、他分野の人材、外国人など、多様な人材がバランスよく入職し活躍している ※前目標1 | <ul style="list-style-type: none"> 学生や保護者が持っている建設業に対するイメージの改善（給与が良い、休日が取れる、希望が持てるに加えて、かっこいいの新4K等の浸透） 建設分野に対する学生の職業認識向上 女性や普通科の学生など多様な人材の入職 若手入職者の離職防止の強化 | 方向性1：建設産業の魅力の発信 ※前目標1 施策1-1：業界のPRにつながる広報の実施 施策1-2：他機関と連携した広報の実施 方向性2：担い手の確保・育成の強化 ※前目標3 施策2-1：新たな担い手の発掘 施策2-2：若手人材の育成強化 施策2-3：各種支援制度の効果的な周知 |
| 労働環境の改善 | 個々の事情に応じた多様な働き方が実現するとともに、安全で快適な労働環境や他産業と比べて高い賃金が確保されるなど、誰もが安心して働きがいを実感できる環境となっている ※前目標1 | <ul style="list-style-type: none"> 休日確保に向けた更なる取組の推進 業務における履期限集中の改善 時間外労働の上限規制への対応に向けた業務の効率化 従事者の快適な労働環境の確保 適正賃金の確保や社会保険の加入促進等、就業者の処遇の改善 | 方向性3：さらなる働きやすい環境づくりの推進 ※前目標2 施策3-1：工事における週休2日の取組強化 施策3-2：工事における施工時期平準化の更なる推進 施策3-3：工事における作業の効率化 施策3-4：調査・設計業務における履期限の分散 施策3-5：調査・設計業務における作業の効率化 施策3-6：安全な労働環境の確保 施策3-7：工事や業務における快適な労働環境の整備 施策3-8：多様な働き方の実現によるWLBの確保 施策3-9：適正な賃金等の確保 施策3-10：適正な下請契約の確保 |
| 生産性の向上 | ICT等の新しい技術を効果的に活用した施工や業務のデジタル化などに業界全体で取り組み、作業の省力化・効率化が図られている ※前目標3 | <ul style="list-style-type: none"> ICT活用の拡大に向けたコスト面の改善及び導入効果の見える化 デジタル技術の活用に必要な人材育成 生産性向上に向けたICT活用工事以外の取組の検討 提出書類に関する負担軽減 | 方向性4：生産性向上に関する取組強化 ※前目標6 施策4-1：市発注工事におけるICT活用の拡大 施策4-2：デジタル技術を活用した業務の効率化 施策4-3：提出書類の作成に関する負担軽減 施策4-4：維持管理分野へのデジタル技術の活用 施策4-5：除排雪作業の効率化・省力化に向けたICT等の活用 |
| 企業の安定経営 | 技術力向上や将来的な担い手確保や育成など、持続可能な体制確保に取り組む企業が適正に評価され経営の安定化が図られている ※前目標3 | <ul style="list-style-type: none"> 安定的な企業経営や設備投資に向けた公共事業の受注量確保 災害対応や除排雪を行う企業の受注機会の確保 工事等における適正な利潤の確保 業務内容に応じた多様な入札方式活用 技術力が必要な業務におけるプロポーザル方式の活用 | 方向性5：企業経営の強化・安定化 ※前目標4・5 施策5-1：中長期的な事業量の確保 施策5-2：工事等における適正利潤の確保 施策5-3：企業の取組や技術力を考慮した発注方式の活用 施策5-4：企業経営に関する支援 |
| 社会貢献 | 災害対応やカーボンニュートラルの取組など、安全・安心で持続可能な社会に業界全体で貢献している ※前目標2 | <ul style="list-style-type: none"> 災害時の協体制の維持 建設分野における気候変動への対応の推進 地域社会における安全や安心の推進 | 方向性6：持続可能な社会への貢献 ※新規目標 施策6-1：災害等に対応する体制確保 施策6-2：建設分野におけるゼロカーボンの取組推進 施策6-3：建設企業のまちづくり活動の推進 |

※工事等における生産性向上に向けては、ICT及びデジタル技術の活用が有効であり、また、個々の技術を活用するだけでなく、複数の技術を組み合わせることにより、業務全体の省力化・効率化につなげることを想定しているため、その具体的なイメージを以下に示します。

| 主な項目 | 現状 | 目指す将来像 |
|-------------------|--|--|
| 工事等における作業の省力化・効率化 | 従来施工を基本としており、規模の大きな一部の工事でICT建機を活用した施工を実施 | 各工事の規模や条件に応じて、ICT建機やICT機器を効果的に選択 新たに開発された有効な技術を効果的に活用 |
| 書類の電子化 | 多くの業務において、WordやExcel等で作成した紙媒体の書類を提出 | 紙媒体が義務付けられている書類を除き、電子データを基本入力作業からICT機器等からのデータ取込にシフト |
| 協議や確認のオンライン化 | 対面の打合せや現地での確認を行い、対応後に作成した記録を紙媒体で提出 | 打合せや現場確認のオンライン化を基本とし、オンラインで行った対応は、システムを活用して記録を作成 |

6. 主な取組内容

下表は次期プランの主な取組内容ですが、全体では前プランの57項目に対して、68項目の取組となっています。

| 個別評価指標 内容 | 現状 | | 2029 | 主な取組項目 | 活動指標 | | |
|-------------------------|---------|---------|------|--|-------------------------|-----------|---------|
| | 現状 | 2029 | | | 内容 | 現状 | 2029 |
| 広報事業への参加者数 | 1.4万人/年 | 2.0万人/年 | | 1-1-2【拡充】体験イベントの実施 | イベント数 | 5回 | 10回 |
| | | | | 1-1-3【新規】年代に応じた効果的なツールによる情報発信 | H P閲覧数 | 開設 | 3万回 |
| 建設業における29歳以下の就業者割合 | 9.2% | 15.0% | | 2-1-2【拡充】インターンシップの受入拡大 | 受入人数 | 60人 | 120人 |
| | | | | 2-1-1【新規】幅広い分野の学生に対する建設産業のPR 2-1-3【拡充】他業種からの転職希望者や離職者への情報発信 2-1-5【拡充】外国人材の採用を行う企業への支援策の検討 2-1-6【新規】人材確保に対する効果的な支援策の検討 | 取組状況 | 可能な取組から実施 | |
| 建設業における女性就業者の割合 | 16.3% | 25.0% | | 2-2-3【継続】除雪オペレーターへの育成支援 | 助成件数 | 40件 | 40件 |
| | | | | 3-1-1【拡充】発注工事等における週休2日の確保 3-1-2【新規】週休2日の確保に対する市民理解の醸成 | 週休2日工事の発注割合 | 77% | 100% |
| 労働環境に関する就業者の満足度（工事及び業務） | - | 7割 | | 3-2-1【継続】債務負担行為を活用した工事の早期発注 | 平準化率 | 0.90 | 0.8以上 |
| | | | | 3-2-2【拡充】工事における余裕期間制度の適用 | 適用割合 | 20% | 可能な工事全て |
| 札幌圏内の労働災害発生件数 | 320件 | 前年以下 | | 3-4-1【拡充】業務の履期限限の分散 | 第四半期の納期率 | 0.70 | 0.50以下 |
| | | | | 3-7-1【拡充】工事等における快適トイレ等の設置の拡大 | 快適トイレ発注割合 | - | 100% |
| 設計労務単価に対する平均賃金の割合 | 72.7% | 100% | | 3-7-2【拡充】就業者の装備品購入に対する支援 | 助成件数 | 10件 | 30件 |
| | | | | 3-9-3【新規】建設キャリアアップシステムの導入 | 取組状況 | 14.8% | 拡大 |
| 市内企業のICT施工の経験割合 | 2割 | 4割 | | 4-1-1【拡充】工事におけるICT活用の推進 4-1-2【新規】効果的なICT活用策の検討 4-1-3【新規】ICTの活用促進に向けた研修等の実施 | ICT施工実施率 | 約6割 | 7割以上 |
| | | | | 4-2-1【拡充】デジタル技術の活用（工事・業務） ※本取組は、3-3-2と3-5-2を合わせた再掲項目 4-3-2【拡充】工事等における提出書類の電子化 | デジタル技術活用の発注割合 ※3-2-2の指標 | 8割 | 10割 |
| 発注工事における提出書類に関する改善要望の割合 | 9割 | 3割以下 | | 4-3-1【拡充】提出書類の縮減に向けた検討 4-3-2【拡充】工事における提出書類の電子化 | 工事における電子納品の実施率 | - | 6割以上 |
| | | | | 4-3-4【新規】書類作成の負担軽減に向けた分業体制構築の検討 | 取組状況 | - | 実施 |
| 市内企業の売上高営業利益率 | 2.7% | 3.0% | | 5-3-1【拡充】工事内容に応じた多様な入札契約制度の活用 | 総評発注割合 | A P設定目標 | |
| | | | | 5-3-2【拡充】若手や女性の活用や育成に取り組む企業を評価する入札方式の拡大 | 人材確保・育成型発注割合 | 1% | 5% |
| 建設分野のGX取組企業割合 | 5割 | 10割 | | 6-2-1【新規】ゼロカーボン推進に向けた取組 6-2-2【新規】企業における脱炭素の取組実施 | 工事におけるゼロカーボンの取組割合 | 5割 | 10割 |

7. プランの推進体制

(1) 業界との意見交換

次期プランの推進にあたっては、定期的に「さっぽろ建設産業活性化推進協議会」を開催し、取組状況や新たな課題などについて業界との意見交換を行いながら、効果的な取組推進に努めます。

(2) 評価・見直し

次期プランでは、取組の実施状況や効果などについて定量的な評価を行うため、プラン目標、施策目標、取組の活動指標を設定し、毎年、状況調査を行うとともにその結果に応じて適切に見直しを行います。